

SHARP®

取扱説明書

インフォメーションディスプレイ

形名

ピー エヌ

PN-455

ピー エヌ エイチ

PN-H455

はじめに

接続と設置

基本操作

パソコンでの制御

付録

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」(☞ 4ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

もくじ

はじめに

安全にお使いいただくために	4
警告	4
注意	6
使用上のご注意	8
守っていただきたいこと	8
使用環境について	9
蛍光管について	9
この説明書の読み方	10
この説明書の表記方法	11
商標について	11
本機の特長	12
付属品を確認する	13
各部の名前<本体>	14
前面	14
後面	15
各部の名前<リモコン>	16
電池カバーのあけかた	17
リモコンで操作できる範囲	17

接続と設置

機器の接続	18
外部スピーカーの接続	24
電源コードの接続	25
複数台の接続	26
設置時の注意事項	27
仮置きスタンドの取り付け	28
ケーブル処理	28
キャリングハンドルの取り付け	29

基本操作

電源の入/切	30
主電源スイッチ	30
リモコンの電源入/切	30
リモコンの機能	31
メニューについて	32
メニューの基本操作	32
メニュー画面の見かた	34
初期化(リセット)・機能制限設定	35
各種調整と設定	36
調整のための画面表示について(INPUT2)	42
セットアップ情報について(INPUT1/INPUT2)	43

パソコンでの制御

パソコンで本機を制御する	44
接続のしかた	44
通信仕様	45
通信手順	46
RS-232Cコマンド一覧表	53

付録

故障かな？と思ったら	58
アフターサービスについて	60
お客様ご相談窓口のご案内	61
おもな仕様	62
PCデジタル／アナログ入力端子の対応信号	63
コネクタの対応表	64
寸法図	65
メニュー項目一覧	66
索引	68

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

電波障害に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- ※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
 - ※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- なお、詳しくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

お願い

- ※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- ※ お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- ※ 本書に記載のイラストは、実際と多少異なることがあります。
- ※ TFTカラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 長時間静止画を表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。
- ※ 輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
- ※ コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
- ※ 本機は付属品も含め日本国内（AC100V）用です。海外では使えません。
- ※ 本書に記載している数値は、お客さまの環境などにより実際の数値とは異なる場合があります。

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

(絵表示の一例です。)



記号は、**気を付ける必要**があることを表しています。



記号は、**してはいけない**ことを表しています。



記号は、**しなければならない**ことを表しています。

警告



電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、本機の下敷きにしたり、加熱したりしないでください。また、加工しないでください。

電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換を依頼してください。



交流100V以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら、落雷による火災や感電を防ぐために、ディスプレイの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。異常が起きたら、すぐにディスプレイの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。



落としたり、キャビネットを破損したときは、ディスプレイの電源を切り、電源プラグを抜いてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。



電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除いてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



内部に水や異物が入ったときは、ディスプレイの電源を切り、電源プラグを抜いてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

 **警告**

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。
火災の原因になります。



クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。
火災や感電の原因になります。特にお子様にはご注意ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



ディスプレイの裏ぶたを外したり、改造したりしないでください。
内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。



ディスプレイの近くに花瓶等、水の入った容器を置かないでください。
水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。



ディスプレイに水がかかるような使いかたをしたり、ぬらしたりしないでください。
火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺では使用しないでください。



風呂やシャワー室では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。



アース接続してください。
アース接続がされないで万一、故障した場合は感電のおそれがあります。
● アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
● アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番が異なると感電の原因となります。

安全にお使いいただくために(つづき)

注意



電源コードは、必ず付属のものを使用してください。
付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。



電源コードを熱器具に近づけないでください。
電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となる場合があります。



電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。
タコ足配線をすると、過熱により火災の原因になる場合があります。



火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- お手入れのときや、夜間、旅行などで長時間使用しないときは、ディスプレイの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、販売店や電気工事店にご相談ください。



直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。
発熱や発火の原因になる場合があります。



硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
破損してけがの原因になる場合があります。



うつ伏せ、あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。
熱がこもり、発熱や発火の原因になる場合があります。
故障の原因になる場合があります。



重いものを置いたり、上に乗ったりしないでください。
倒れたり、落下したりしてけがの原因となる場合があります。特にお子様にはご注意ください。



風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。

 **注意**

液晶画面に衝撃を与えないでください。
液晶画面のパネルが割れて、けがの原因となることがあります。



健康のために、次のことをお守りください。

- 明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。



移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。
コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。
電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



年に一度を目安にディスプレイ内部を清掃してください。内部の清掃は販売店にご相談ください。
内部にほこりがたまると、発熱や発火の原因になることがあります。



通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除いてください。
内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の清掃については、販売店にご相談ください。



電池の使用にあたっては、次のことをお守りください。
使い方を誤ると、破裂や発火の原因になることがあります。また、液漏れによる機器の腐食、手や衣類を汚す原因にもなります。

- プラス(+)とマイナス(-)の向きは、表示に従って正しく入れてください。
- 新しいものと、一度使ったものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違うものを混ぜて使わないでください。同じ形でも電圧の異なるものがあります。
- 消耗したときは、速やかに交換してください。
- 漏れた液が体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 端子をショートさせないでください。
- 水や火の中に入れたり、分解をしないでください。
- プラス(+)極とマイナス(-)極にはさわらないでください。汗や油などで電池ケース内の端子が腐食することがあります。
- 指定以外の電池を使用しないでください。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

お手入れのしかた

必ず本体上部の主電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

■キャビネットの部分

- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

■液晶ディスプレイパネルの部分

- ディスプレイパネルの表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- ディスプレイパネルにホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- ディスプレイパネルの保護のため、ほこりのついた布、しめった布や化学雑巾で拭きとらないでください。

設置について

- 発熱する機器の上にはディスプレイを置かないでください。
- ディスプレイの上にはものを置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

- ディスプレイの近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

直射日光・熱気は避けてください

- 炎天下の自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- キャビネットや部品に悪い影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。

ディスプレイに水がかからないようご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

守っていただきたいこと

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。(使用温度0℃～40℃)
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないとき

- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。
外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

結露(つゆつき)について

- ディスプレイを寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、ディスプレイの表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因となります。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となる恐れがあります。

取り扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押さないように、また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れると危険です。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。
また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

使用環境について

- ディスプレイを冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、ディスプレイの性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。
- 周囲温度は0℃～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

蛍光管について

■本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。

この場合、本体上部の主電源スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れなおして動作を確認してください。

この説明書の読み方

この説明書は目的別構成になっています。操作したい内容や知りたい内容の章からお読みください。

はじめに

本機の特長や各部の名前などを知りたい、というときにお読みください。「安全にお使いいただくために」は必ずお読みください。

接続と設置

ディスプレイ部の端子や設置方法を紹介しています。

基本操作

電源の入/切やリモコンでの設定方法、設定の内容や調整範囲などを紹介しています。

パソコンでの制御

パソコンのRS-232C (COMポート)を利用して本機を外部から制御する方法を紹介しています。

付録

操作中に本機が動作しなくなったり、思った結果にならないときは「故障かな?と思ったら」をお読みください。仕様やご相談窓口なども紹介しています。

また、「索引」から、操作説明を探すこともできます。

この説明書の表記方法

この説明書で使用している記号について



参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。



この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

本機のボタンについて

ディスプレイ、リモコンのボタンは、ボタンイラストまたは名称で表記しています。

例)  POWER(電源)ボタン

画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目や、画面の名称などは、「 」または【 】で囲んで表記しています。

例) 「FUNCTION 1」画面
【BLACK LEVEL】

この説明書で使用している表記について

※本書は、PN-455、PN-H455共通の取扱説明書です。

※本書では、Microsoft Windows XP Home EditionとMicrosoft Windows XP Professionalを「Windows XP」、Microsoft Windows 2000を「Windows 2000」と表記します。また、これらを区別する必要のない場合は、総称して「Windows」と表記しています。

商標について

Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

本機の特長

●高精細フルハイビジョン対応液晶パネル搭載

- 1920×1080ドットのフルハイビジョン対応の液晶ディスプレイパネルにより、きめ細かい高精細映像を楽しめます。

●ASV※方式低反射ブラックTFT液晶パネル採用

- シャープ独自のASV※&ブラックTFT液晶パネルの採用により、窓ぎわに置いても映りこみが少なく、メリハリのある明るい映像を再現します。また、視野角は上下左右170°と広く、斜めから見てもキレイです。

※ASV…「Advanced Super View」の略。

●豊富な端子群を用意

- PCデジタルRGB入力(DVI-D24ピン)( 15、18ページ)
- PCアナログRGB入力(ミニD-sub15ピン)( 15、19ページ)
- D4映像／コンポーネント映像入力( 15、20、21ページ)
- ビデオ映像入力( 15、22ページ)
- S映像入力( 15、22ページ)
- RS-232C入力( 15、27ページ)

●エンラージ機能搭載

専用の外部機器を使用することなく、4画面設置(2×2)および9画面設置(3×3)用の拡大映像を表示することができます。( 39ページ)

●複数台のデイジーチェーン接続機能

- PCアナログRGB出力を使い、複数台を接続することができます。( 26ページ)
- RS-232Cケーブルにより数珠つなぎに接続された複数台のセットを、パソコンにより個別に制御することができます。( 27、45ページ)

●パソコンによる外部からの制御と状態確認が可能

- パソコンにより、さまざまな制御を行うことができます。( 44ページ)
- 複数台を数珠つなぎに接続して個別の制御を行うことができます。( 27、45ページ)

●外部スピーカーの接続が可能

- 左右 各6Ω 10W以上のスピーカーが接続できます。( 24ページ)

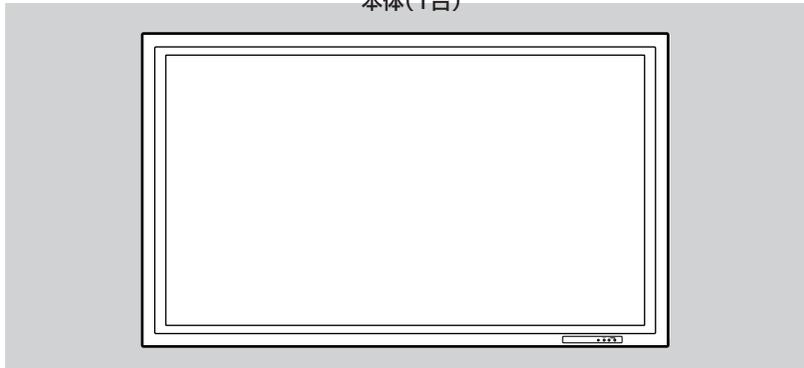
●操作ロック機能

- 意図しない操作やいたずらを防ぐための操作ロック機能を持っています。( 35ページ)

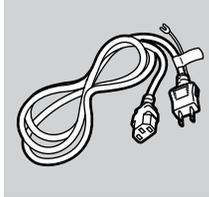
付属品を確認する

箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

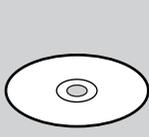
本体(1台)



電源コード(1本)

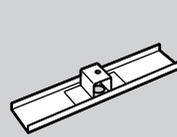


CD-ROM(1枚)



ユーティリティディスク
(Windows用)

仮置きスタンド(2個)

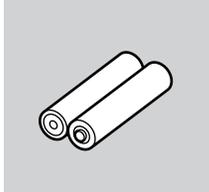


● 仮置きスタンド用
取付けネジ(2本)

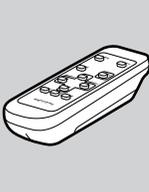
ケーブルクランプ(2個)



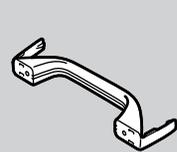
リモコン用乾電池(単3形・2本)



リモコン(1個)

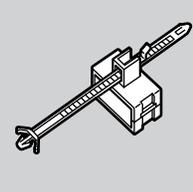


キャリングハンドル(2個)



● キャリングハンドル用
取付けネジ(4本)／
スペーサ(4枚)

電源コードクランプ(1個)



● 取扱説明書(1部)

● 保証書(1部)

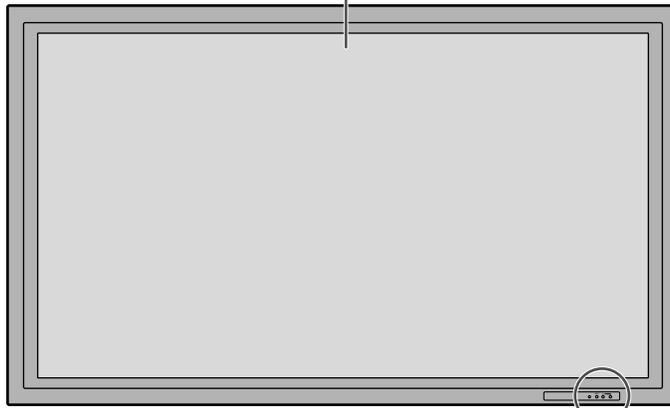
● ビデオ映像接続ケーブル(1本)

- ※ 梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。
- ※ CD-ROM内のユーティリティの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。
- ※ 仮置きスタンドは、正しく設置するまでの間、暫定的に使うためのものです。通常の設置には使用しないでください。

各部の名前<本体>

前面

液晶ディスプレイパネル



リモコン受光部
(☞17ページ)

※リモコンを操作するときは、
ここに向けて行ってください。

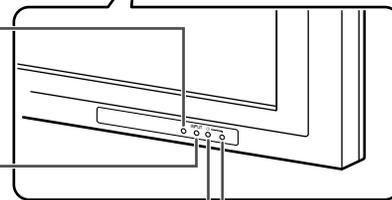
INPUT (入力切替) スイッチ
(☞31ページ)

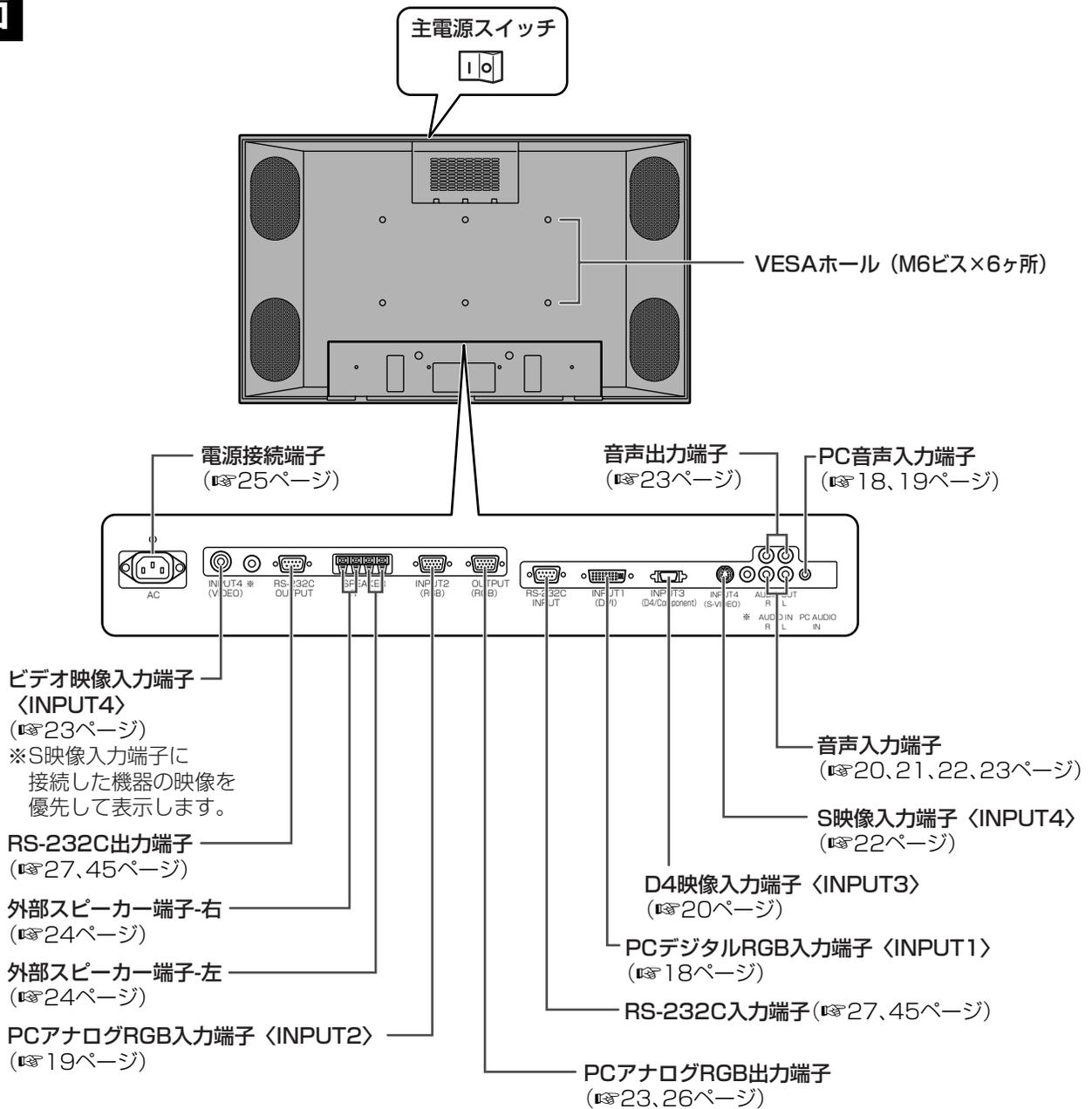
※ペン先など先のとがったもの
で操作してください。

POWER (電源) スイッチ
(☞30ページ)

※ペン先など先のとがったもの
で操作してください。

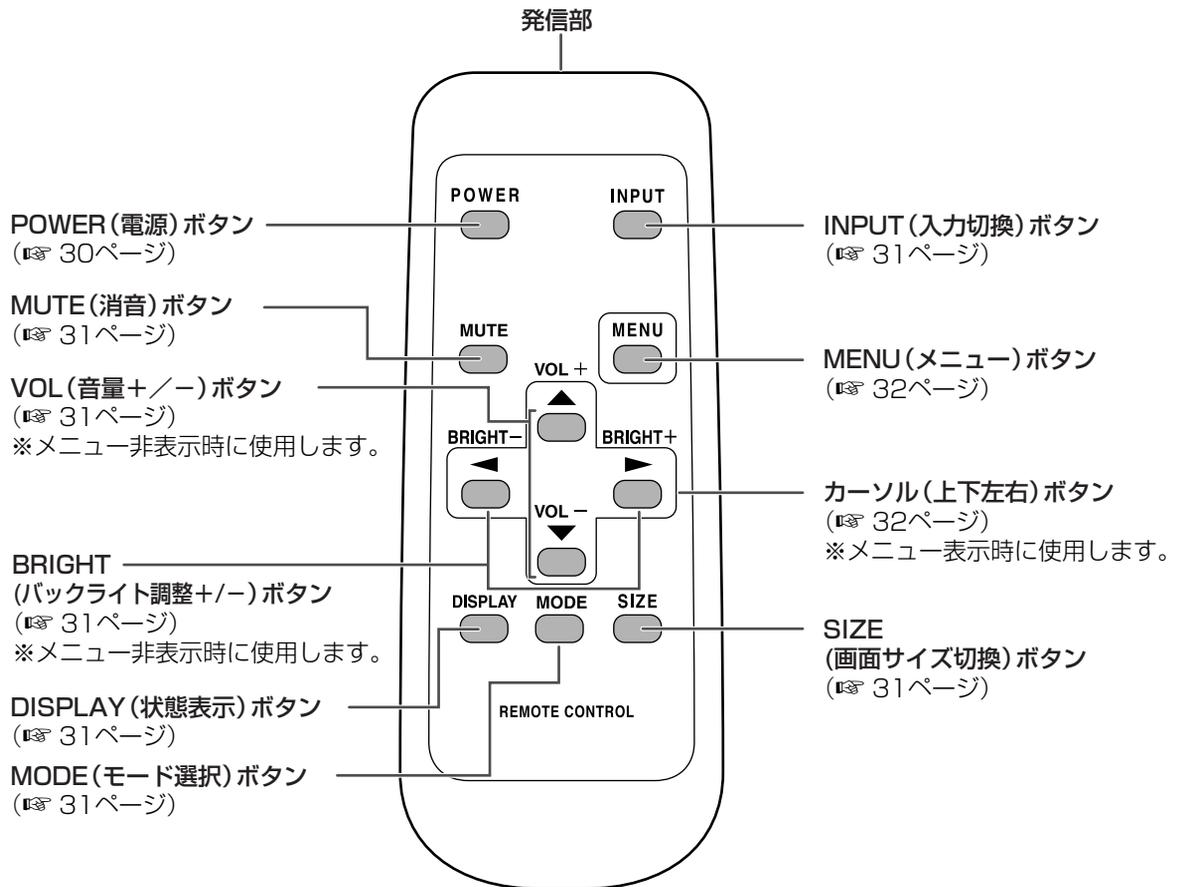
電源ランプ
(☞30ページ)



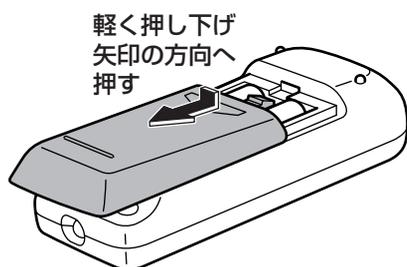


各部の名前<リモコン>

リモコン



電池カバーのあけかた



リモコン使用上のご注意

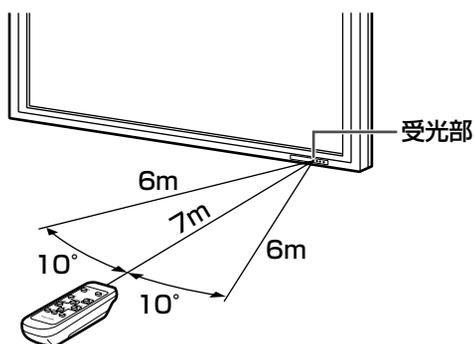
- リモコン送信機には衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。照明の向きを変えるなどしてみてください。



- 付属の乾電池は保存状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 新しい乾電池に交換してもリモコンが動作しないときは、電池を取り出し、電池の向き(リモコン内部に向きの記載があります)を確かめて、入れなおしてください。
- 充電電池(ニカド電池)は使用しないでください。

リモコンで操作できる範囲

操作できる範囲は、リモコン受光部から約7m、上下左右約10° 以内です。



リモコンで動作しにくいとき

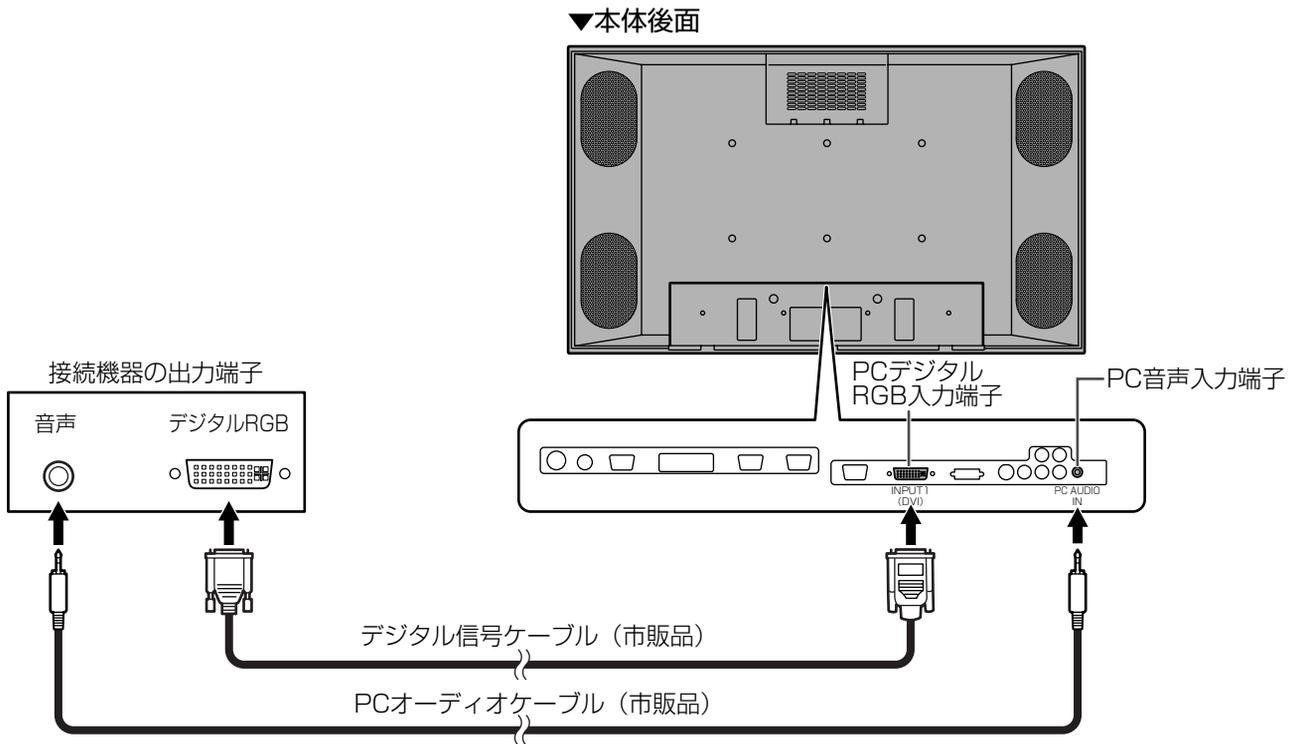
- リモコンとディスプレイの受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。

機器の接続

ディスプレイ部の各端子について説明しています。

INPUT 1 (PCデジタル)

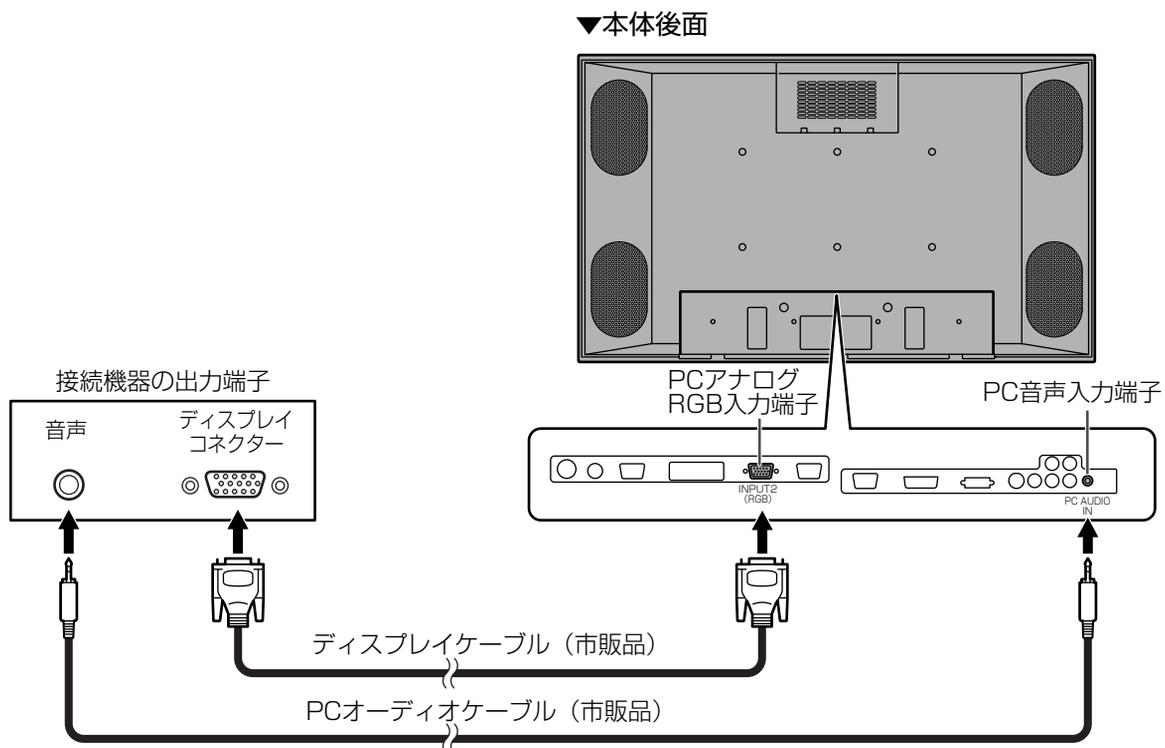
- デジタル信号ケーブル(市販品)を使って、コンピューターのデジタルRGB出力端子と接続します。
※ DVI準拠の出力端子(DVI-D24ピンまたはDVI-I29ピン)を持つコンピューターと接続することができます。
(ただし、接続するコンピューターによっては正しく表示されないことがあります。)
- PCオーディオケーブル(市販品)を使って、コンピューターの音声出力ジャックと接続します。



※ 対応信号は(🔊 63ページ)をご覧ください。

INPUT2 (PCアナログ)

- ディ스플레이ケーブル(市販品)を使って、コンピューターのディスプレイコネクタと接続します。
- PCオーディオケーブル(市販品)を使って、コンピューターの音声出力ジャックと接続します。



※1 同期種別は自動判別します。

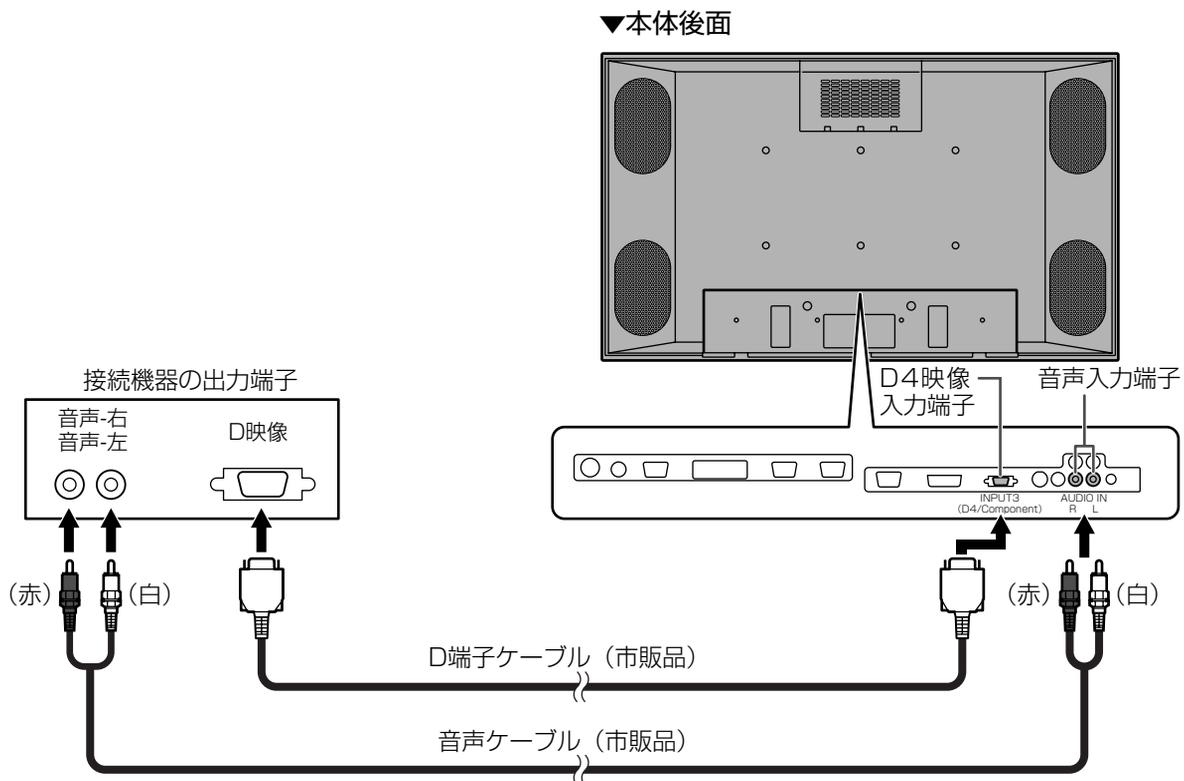
※2 同期信号はコンポジットシンク→セパレートシンク→シンク・オン・グリーンの順で有無の判別が行われます。このときなんらかの要因で、セパレートシンクもコンポジットシンクも入力されていなかった場合、本機はシンク・オン・グリーン信号である、すなわちRGBのGの信号に同期信号が含まれているものとして動作しますので、映像信号によっては正常に表示されないことがあります。

※3 対応信号は(63ページ)をご覧ください。

機器の接続(つづき)

INPUT3 (D4映像)

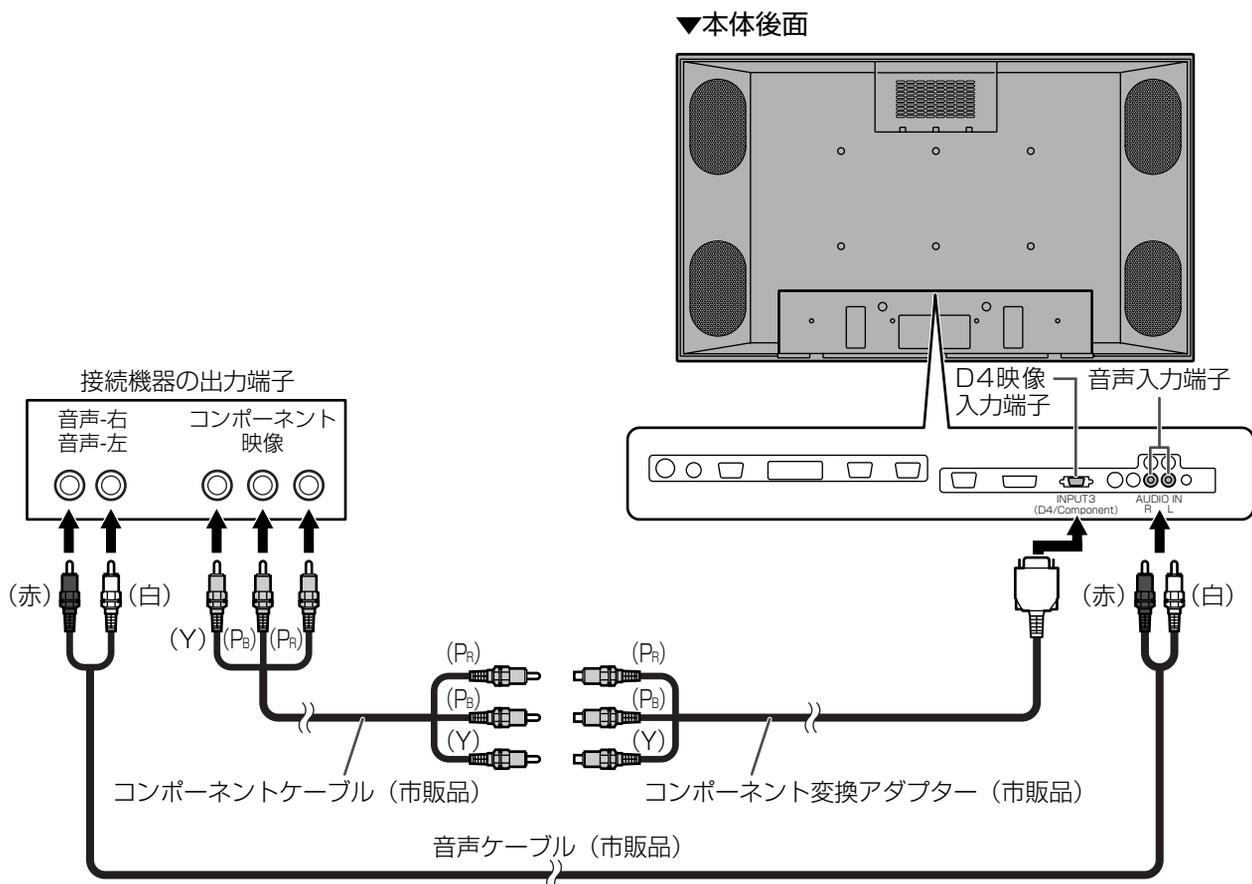
- D端子ケーブル(市販品)を使って、D映像出力端子のある機器と接続します。
- 音声(RCAピン)ケーブル(市販品)を使って、音声出力端子と接続します。



対応信号	D1 (525i) / D2 (525p) / D3 (1125i) / D4 (750p) (※)
------	--

※ 映像周波数は自動判別します。

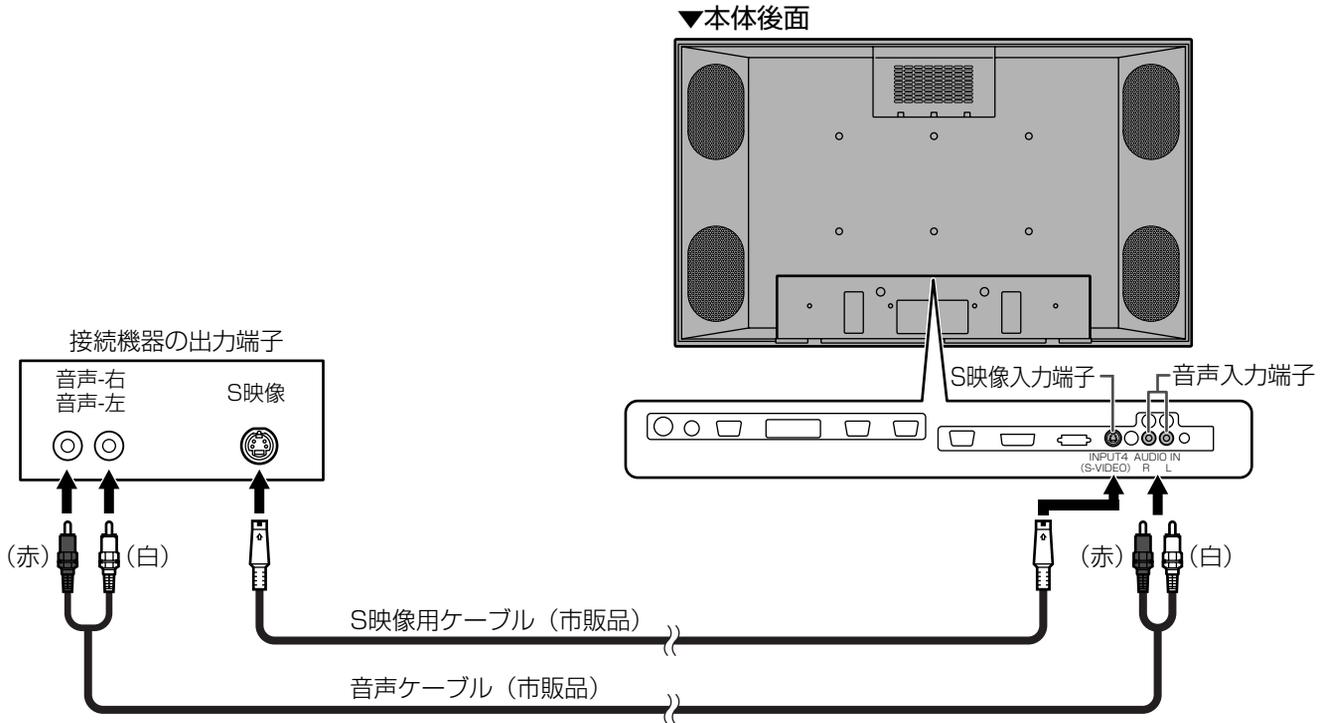
- 市販のコンポーネント変換(D端子-RCAピン)アダプター(市販品)と、市販のコンポーネント(RCAピン)ケーブル(市販品)を使って、コンポーネント出力端子のある機器と接続可能です。
- 音声(RCAピン)ケーブル(市販品)を使って、音声出力端子と接続します。



機器の接続(つづき)

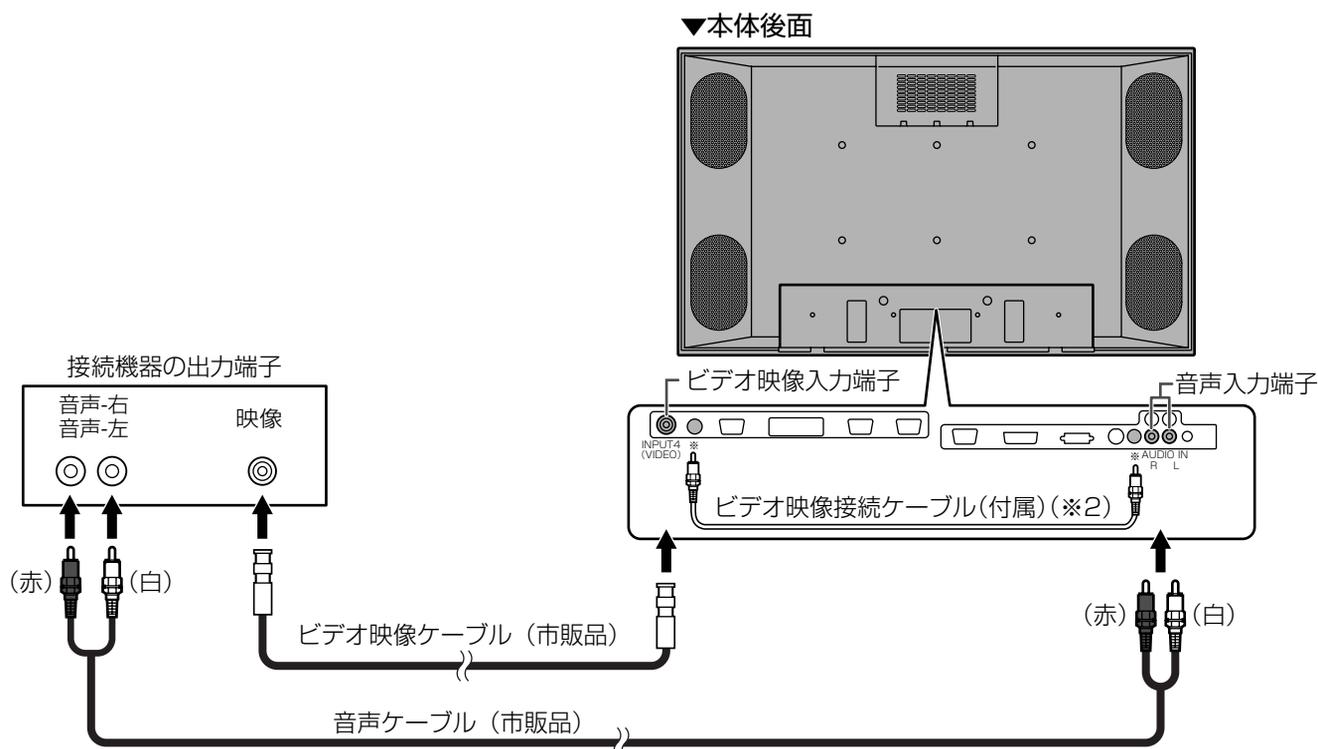
INPUT4 (S映像・ビデオ映像)

- S映像用ケーブル(市販品)を使って、S映像出力端子のある機器と接続します。(※1)
- ビデオ映像(BNCピン)ケーブル(市販品)を使って、ビデオ映像出力端子のある機器と接続します。(※1)
- 音声(RCAピン)ケーブル(市販品)を使って、音声出力端子と接続します。



S映像対応信号	NTSC (3.58MHz)
---------	----------------

※1 S映像入力端子に接続した機器の映像を優先して表示します。



ビデオ映像対応信号	NTSC (3.58MHz)
-----------	----------------

※1 S映像入力端子に接続した機器の映像を優先して表示します。

※2 ビデオ映像ケーブル(市販品)を使ってビデオ映像出力端子のある機器と接続するときは、上記のイラストを参照して、本機にビデオ映像接続ケーブル(付属)を接続してください。

PCアナログRGB出力端子

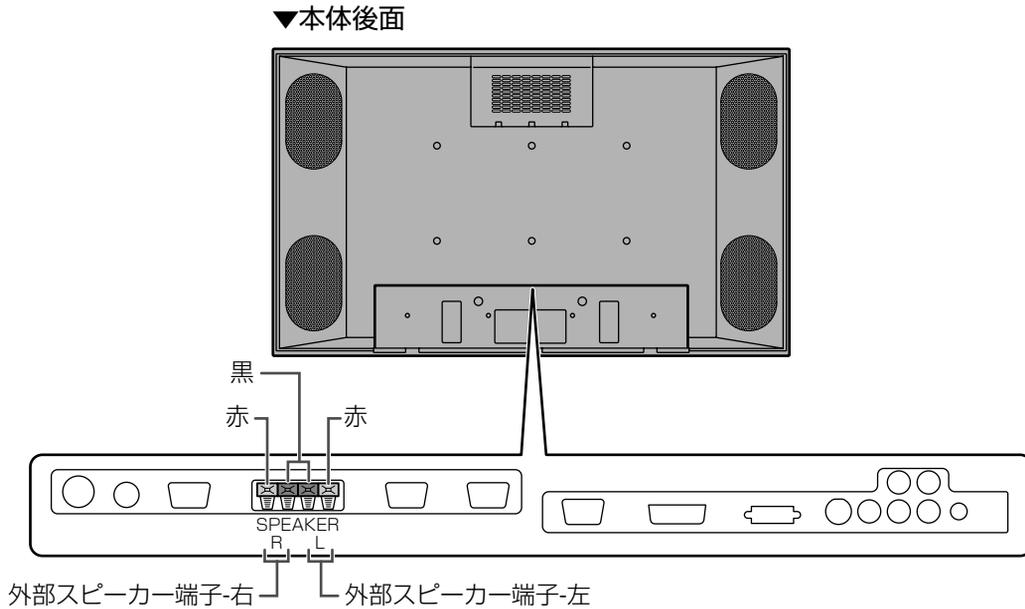
- INPUT2(PCアナログ)の映像が出力されます。ディスプレイケーブル(市販品)を使って、複数台を数珠つなぎに接続する場合などに使います。接続例について詳しくは26ページを参照してください。

音声出力端子

- 音声入力端子またはPC音声入力端子に接続された機器の音声が出力されます。音声(RCAピン)ケーブル(市販品)またはPCオーディオケーブル(市販品)を使って、接続機器の音声入力端子に接続します。
- 音声が出力される端子は、画面モードにより異なります。
 - ・画面モードがINPUT1~2のときはPC音声入力端子の音声が出力されます。
 - ・画面モードがINPUT3~4のときは音声入力端子の音声が出力されます。

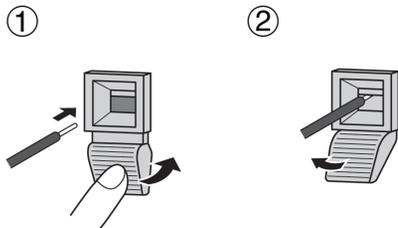
外部スピーカーの接続

外部スピーカーには必ずインピーダンス6Ω、定格入力10W以上のものをお使いください。



スピーカーケーブルのつなぎかた

1. ツマミを押しながら、ケーブルの先端を穴に差し込む。
2. ツマミを離す。



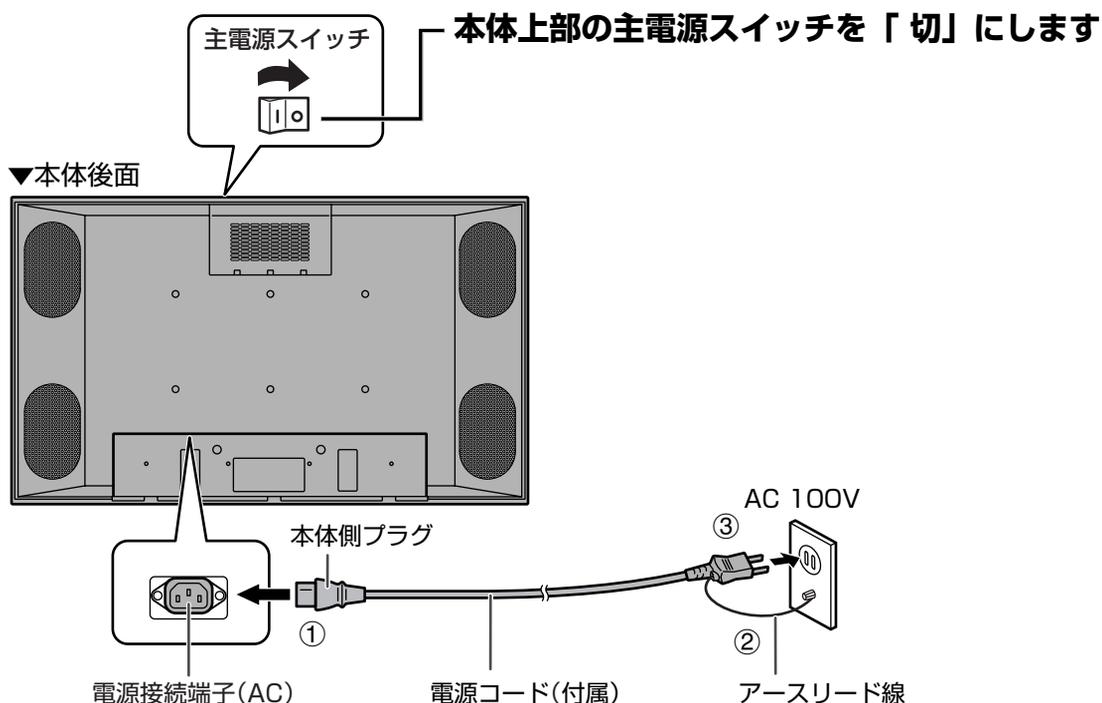
スピーカー端子とケーブルの極性（ \oplus 、 \ominus ）にご注意ください

スピーカー端子には \oplus (プラス)と \ominus (マイナス)の極性があります。 \oplus 端子は赤、 \ominus 端子は黒になっています。ケーブルも \oplus (プラス)用と \ominus (マイナス)用に分かれています。

左右のスピーカーケーブルを接続する際は、それぞれ、 \oplus 端子どうし、 \ominus 端子どうしを正しいケーブルでつないでください。

電源コードの接続

接続するときは、主電源スイッチを「切」にしてから行ってください。



電源コードのつなぎかた

1. 電源コード(付属)を電源接続端子(AC)に差し込みます。
2. アースリード線を接続します。
3. 電源コード(付属)のプラグをコンセントに差し込みます。



警告

アース接続してください

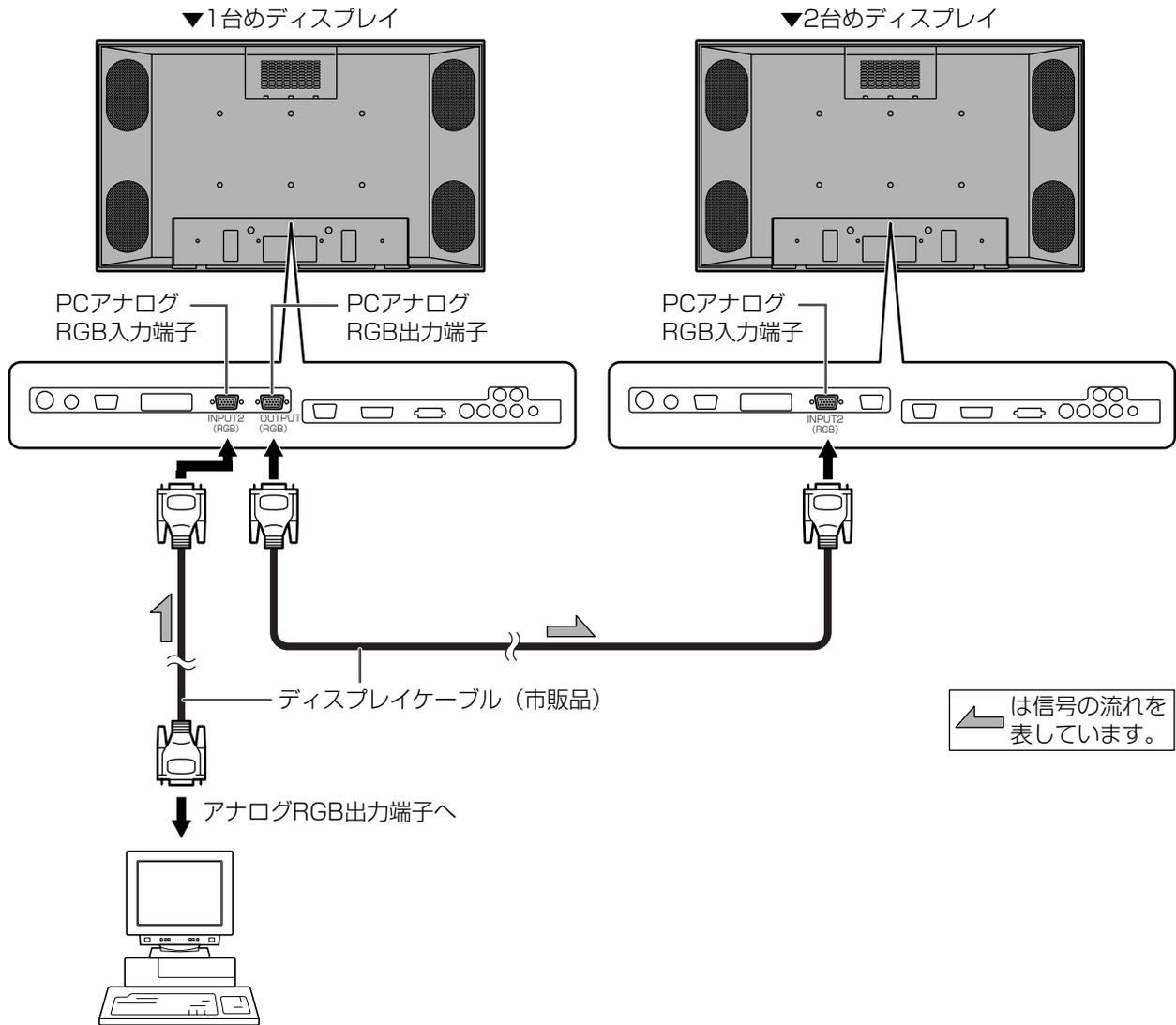
アース接続がされないで万一、故障した場合は感電のおそれがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番が異なると感電の原因となります。

複数台の接続

本機のPCアナログRGB入力端子とPCアナログRGB出力端子を使って、複数台を数珠つなぎに接続することができます。

接続例

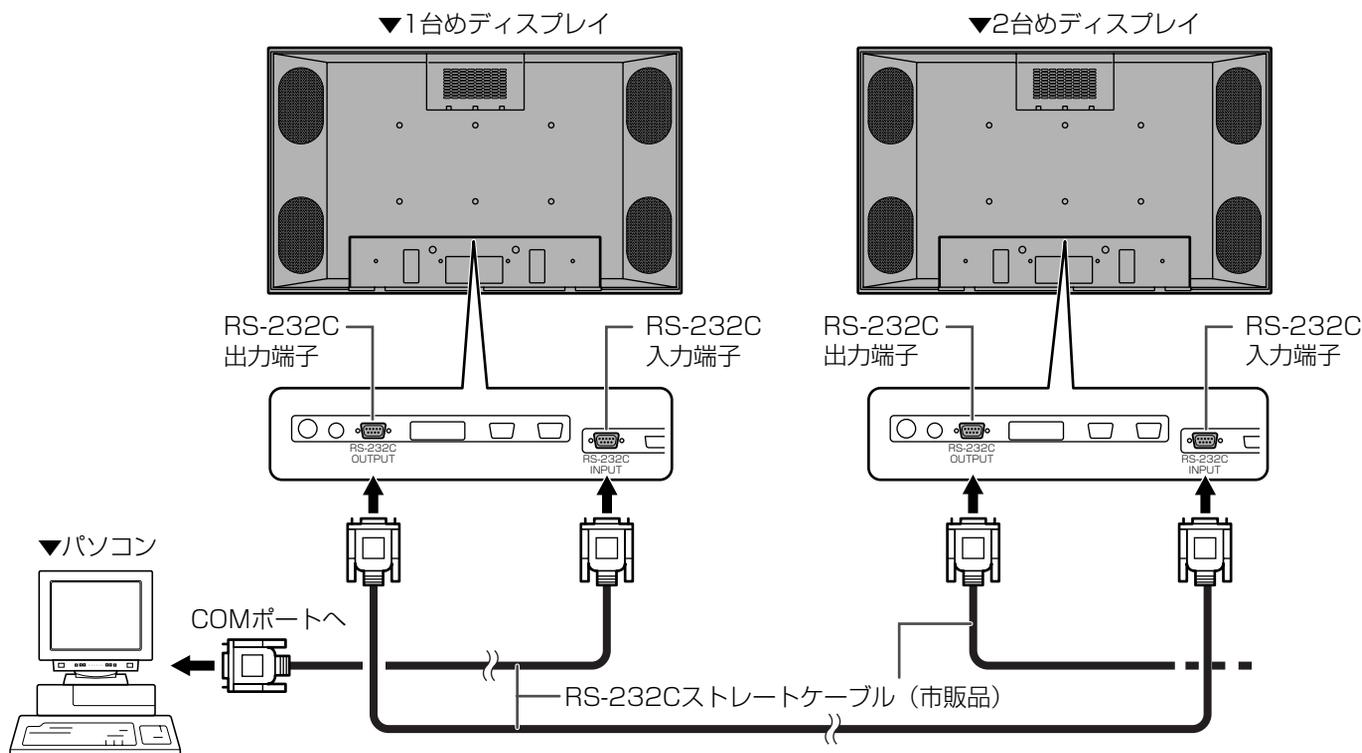


※1 音声信号は複数台を数珠つなぎに接続して送ることができません。音声出力端子から、外部音声アンプ (市販品) に接続してください。

※2 接続するディスプレイケーブルの長さや周囲の環境などにより、画質が劣化することがあります。

RS-232での接続例

本機はパソコンのRS-232C(COMポート)を利用して外部から制御を行うことができますが、これについても複数台を数珠つなぎに接続することが可能です。さらに各セットにID番号(☞ 47ページ)を設定することにより、特定のセットのみの入力切替や調整を行ったり、状態を確認したりすることができます。

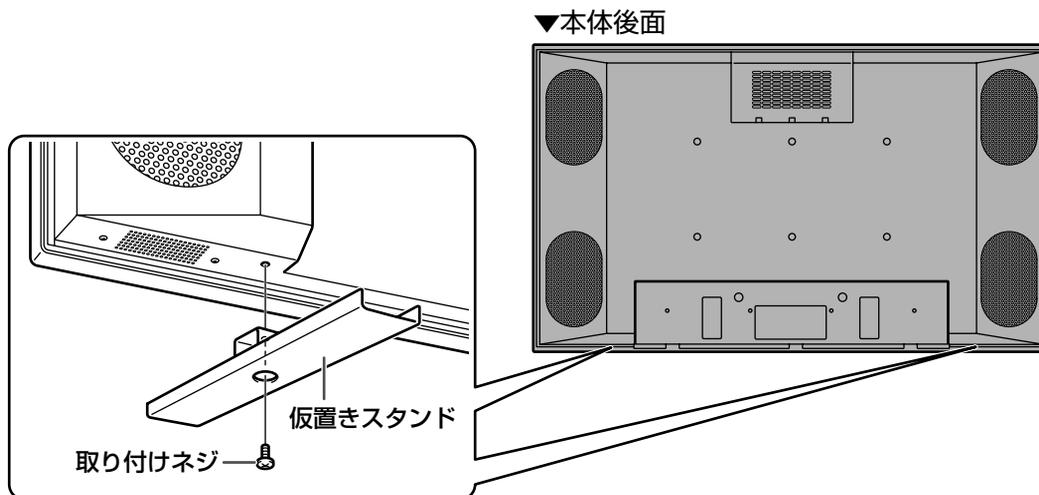


設置時の注意事項

- 本機の設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取り付け工事業者にご依頼ください。お客様ご自身による工事は一切行わないでください。取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。
- 本機には工場出荷時、仮置きスタンドが同梱されています。この仮置きスタンドは、正しく設置するまでの間、暫定的に使うためのものですので、通常の設置には使用しないでください。
- 設置の際は必ず専用の壁掛け金具、スタンドまたは天吊り金具をご使用ください。
- 本機を机の上などにあお向け、うつ伏せの状態で使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- 通気確保のため、ディスプレイ本体より天面は20cm以上、左右・底面は5cm以上、後面は7cm以上の空間を確保ください。通風孔をふさがないでください。本機内部の温度が上がると故障の原因となる場合があります。

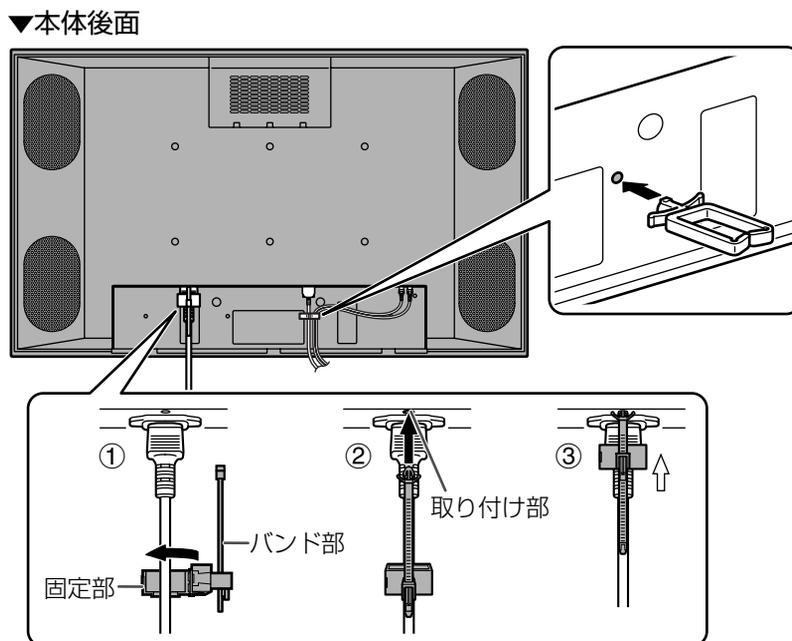
仮置きスタンドの取り付け

仮置きスタンドは、正しく設置するまでの間、暫定的に使うためのものです。通常の設置には使用しないでください。取り付けるときはディスプレイの下部(2ヶ所)に取り付けてください。



ケーブル処理

電源コードクランプ(付属)で電源コードを固定して、電源コードの抜けを防ぐことができます。また、ディスプレイ後面の各端子に接続した外部機器との接続ケーブルは、ケーブルクランプ(付属)を使って配線処理すると、下図のようにすっきりまとめることができます。

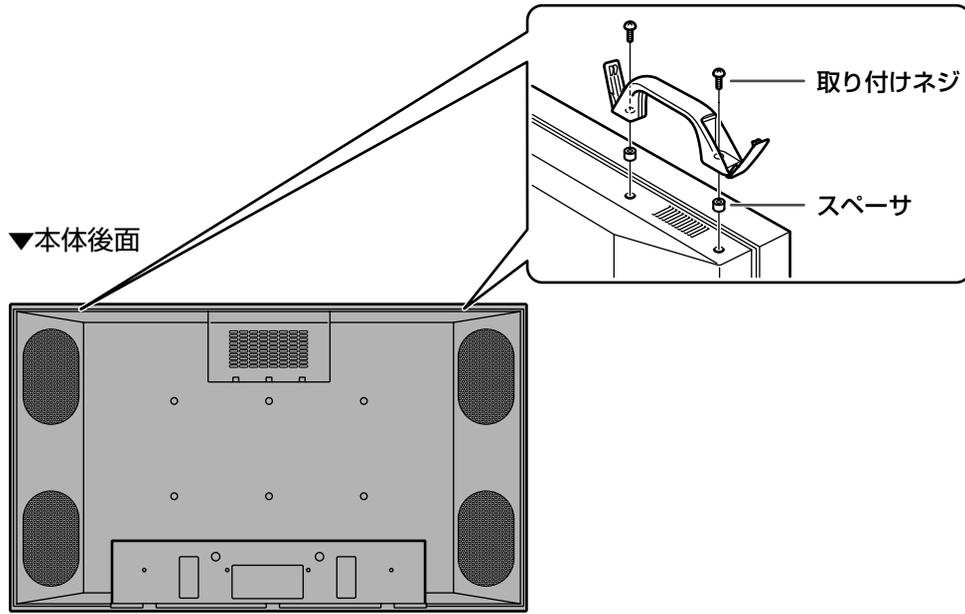


電源コードクランプの取り付け

1. 電源コードクランプ(付属)を丸く空いている方が下になるようにして電源コードに取り付けます。
2. 電源コードクランプ取り付け部に、バンド部の先端を差し込みます。
3. バンド部の下側を押さえながら、固定部を電源端子の方へ押し上げます。

キャリングハンドルの取り付け

本機を持ち運ぶときは付属のキャリングハンドルをディスプレイの上部(2ヶ所)に取り付けてください。



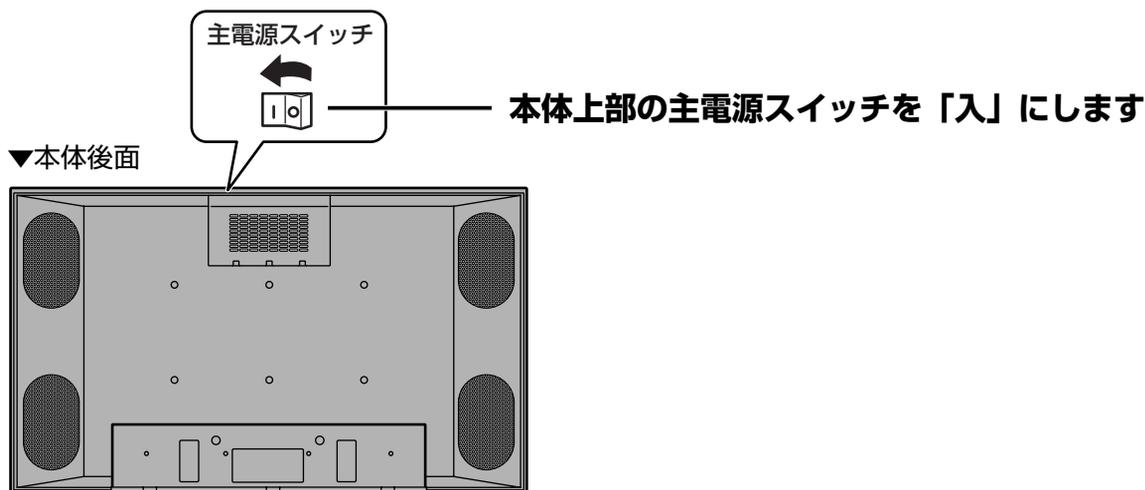
※設置後は、キャリングハンドルを取り外してください。

電源の入／切

電源を入れる前に、外部機器との接続ケーブル、電源コードなど、各種ケーブルの接続を済ませておいてください。電源スイッチは本体上部の主電源スイッチとリモコンのPOWER(電源)ボタンがあります。コンピューターと接続している場合、ディスプレイ(本機)の電源を入れたあと、コンピューターの電源を入れてください。

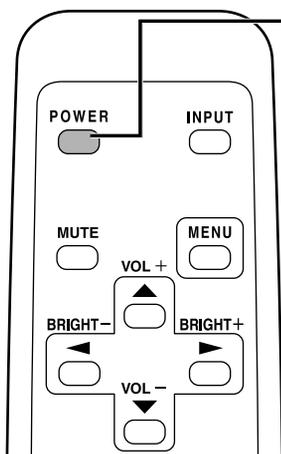
主電源スイッチ

主電源が「入」になっていないと、リモコンのPOWER(電源)ボタンでは電源が入りませんので、ご注意ください。



リモコンの電源入／切

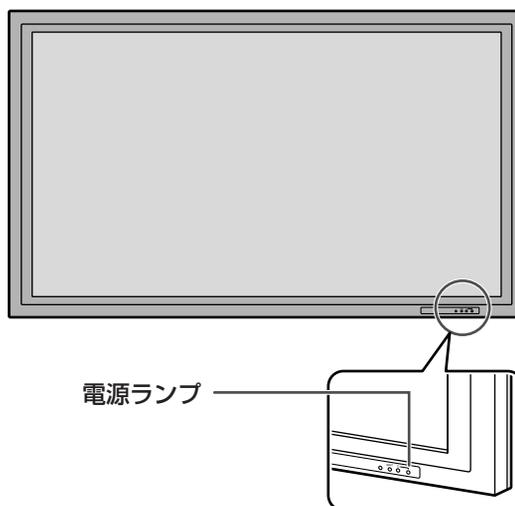
▼リモコン



リモコンのPOWER(電源)ボタンを押すたびに電源を入／切することができます

電源「入」…電源ランプ緑色点灯
電源「切」…電源ランプオレンジ色点灯(待機状態)

▼本体前面



- 電源を入れたあと、映像信号が入力されていないとディスプレイのバックライトが消灯し休止状態になります。
- 休止状態になると電源ランプが緑色に点滅します。
- 休止状態のときにリモコンのPOWER(電源)ボタンを押すと電源が切れます。
- リモコンが使えない場合は、電源ランプの横にあるPOWER(電源)スイッチを先のとがったもので押すと、電源を入／切できます。(P.14ページ)

リモコンの機能

通常の操作はリモコンを使って行います。

INPUT(入力切換)

押すたびに以下の順で入力端子を切り換えます。

- INPUT1 → INPUT2 → INPUT3 → INPUT4 → INPUT1…
(DIGITAL) (ANALOG) (D4/Component) (VIDEO) (DIGITAL)…

※リモコンが使えない場合は、リモコン受光部の横にあるINPUT(入力切換)スイッチを先のとがったもので押すと、入力端子を切り換えることができます。(P.14ページ)

MUTE(消音)

音声を一時的に消します。

もう一度押すと元の音量に戻ります。

MENU(メニュー表示)

メニューが表示されます。

メニューの項目について詳しくは36ページを参照してください。

VOL(音量調整)

メニューが表示されていないときに、やを押すと「VOLメニュー」が表示されます。



を押すと音が大きくなり、を押すと音が小さくなります。

※「VOLメニュー」を表示したあと、約4秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

音量「0」で音が出なくなります。

BRIGHT(バックライト調整+/-)

メニューが表示されていないときに、やを押すと「BRIGHTメニュー」が表示されます。



を押すと画面が明るくなり、を押すと画面が暗くなります。

※「BRIGHTメニュー」を表示したあと、約4秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

SIZE(画面サイズ切換)

押すたびに以下の順で画面サイズを切り換えます。

- WIDE → NORMAL → Dot by Dot → WIDE…
※画面モードがINPUT3または、INPUT4になっているときは、以下の順で切り換えます。
 - WIDE → ZOOM1 → ZOOM2 → NORMAL → Dot by Dot → WIDE…
- 画面サイズについて詳しくは41ページを参照してください。

MODE(モード選択)

押すたびに以下の順で画面モードを切り換えます。

- STD(標準) → OFFICE(省電力) → VIVID(あざやか) → STD(標準)…

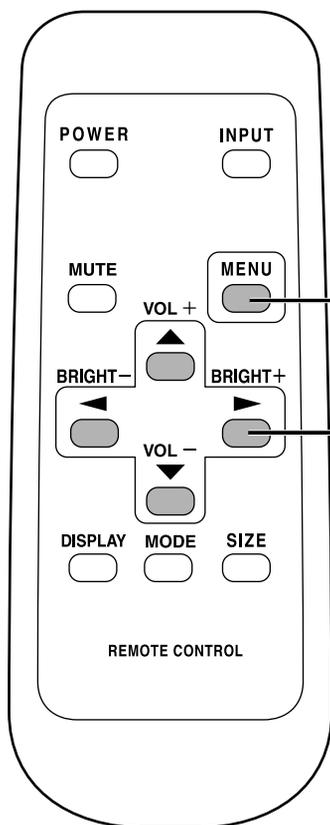
DISPLAY(状態表示)

INPUT(入力端子)、SIZE(画面サイズ)、MODE(画面モード)、BRIGHT(バックライト調整)、VOL(音量)、ID No、モデル名、シリアルナンバーなどを表示します。もう一度押すと表示が消えます。

メニューについて

画面にメニューを表示させて、リモコン操作で映像や音声などの調整や各種機能の設定ができます。ここではメニューの使いかたについて説明します。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。

メニューの基本操作



MENU(メニュー)ボタン

- メニュー画面の表示を入/切します。
- メニュー画面を切り換えます。

カーソルボタン(上下左右)

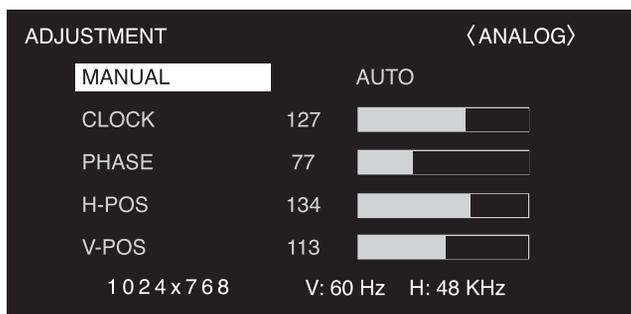
- 上下方向にカーソルを移動し、設定項目を選択します。
- 左右カーソルボタンで、設定の調整を行います。

▶ を押すと、数値が増えます。

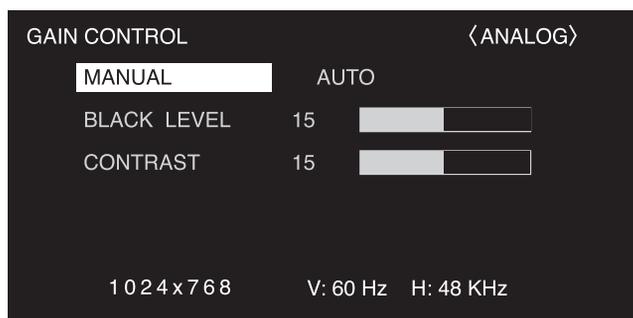
◀ を押すと、数値が減ります。

メニュー操作例(GAIN CONTROLメニューのCONTRAST(映像)を調整する)

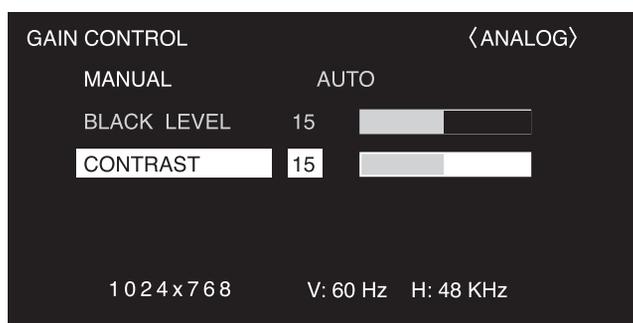
1 を押し、メニュー画面を表示します。



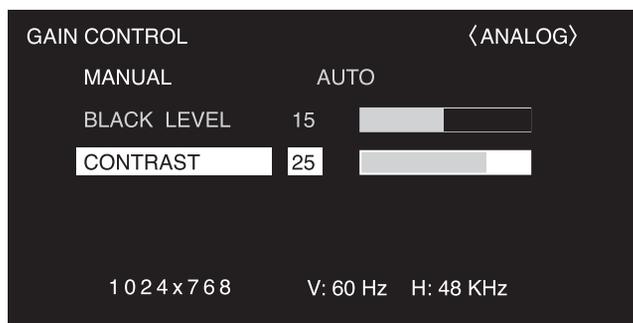
2  を押し、GAIN CONTROL メニューを表示します。



3  を押し、設定項目 (「CONTRAST」) を選択します。



4  (または ) を押し、設定を調整します。



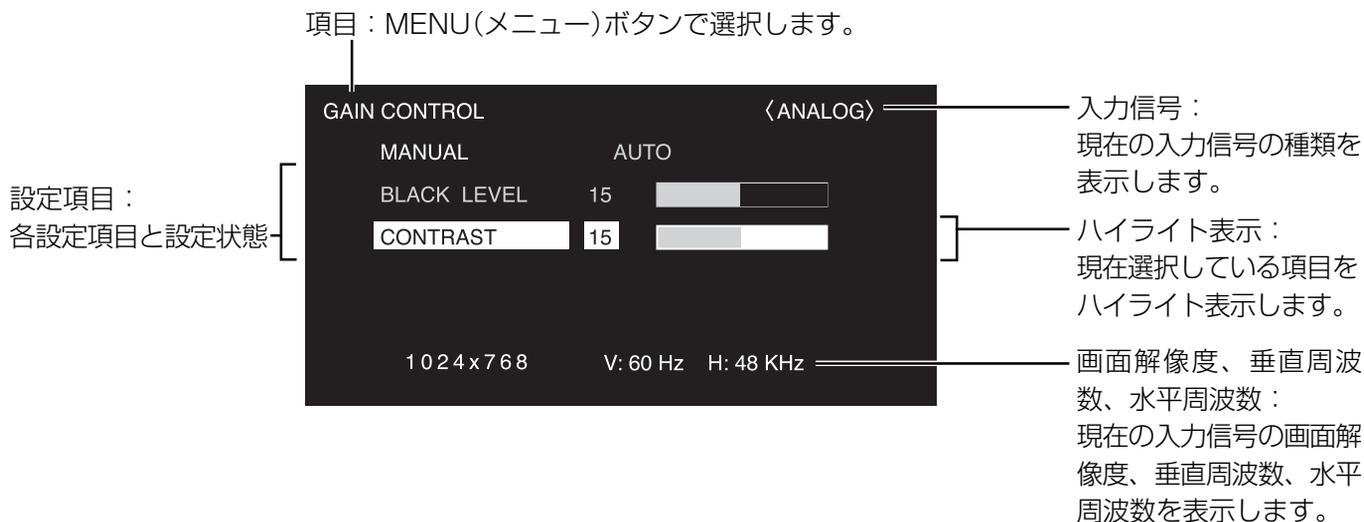
5  を押し、メニュー画面を閉じます。
約15秒間何も操作しないと、メニュー画面は自動的に閉じます。



- MENU (メニュー) ボタンを押したときに表示されるメニュー画面は、入力されている信号の種類により内容が異なります。

メニューについて(つづき)

メニュー画面の見かた



黄色文字の項目：現在の設定内容です。

青色文字の項目：選択可能な内容です。

灰色文字の項目：選択できない内容です。

※選択できない理由はさまざまですが、主に下記要因があげられます。

- 無信号の場合
- 現在の入力信号では対応していない機能

メニュー画面の表示時間について

- メニュー画面を表示したあと、設定中に約15秒間何も操作しないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。



- 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、実際の画面表示とは多少異なります。

初期化(リセット)・機能制限設定

「FUNCTION 1」画面を表示して、コントラストや画質などの設定を工場出荷時の状態に戻したり、LEDを点灯させるか、させないか、RS-232Cによる制御(☞ 44ページ)を許可するか、しないかなどを切り換えることができます。

- 1  を約3秒間押したあと、    の順に押します。
「FUNCTION 1」画面が表示されます。

FUNCTION 1		
ALL RESET	.	ALL RESET
ADJUSTMENT LOCK	LOCKED	UNLOCKED
OSD DISPLAY	ON	OFF
LED	ON	OFF
RS-232C	LOCKED	UNLOCKED

- 2 お好みの項目を選択して、設定してください。

【ALL RESET】	
機能	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。初期化(リセット)したあとは、主電源スイッチを入れ直してください。
【ADJUSTMENT LOCK】	
機能	ADJUSTMENT や WHITE BALANCE などの設定をロックするか、しないかを設定します。ロックするとリモコンの操作は、電源入/切(POWER(電源)ボタン)と「FUNCTION 1」画面の表示以外できません。
出荷状態	UNLOCKED
LOCKED	設定をロックします。
UNLOCKED	設定のロックを解除します。
【OSD DISPLAY】	
機能	メニューの表示/非表示を切り換えます。「FUNCTION 1」画面は非表示に切り換えられません。
出荷状態	ON
ON	メニューを表示します。
OFF	メニューを表示しません。(メニュー非表示)
【LED】	
機能	LEDを点灯させるか、させないかを切り換えます。
ON	LEDを点灯します。
OFF	LEDを点灯しません。(LED非表示)
【RS-232C】	
機能	RS-232Cからの制御(☞ 44ページ)を許可するか、禁止するかを切り換えます。
出荷状態	UNLOCKED
LOCKED	RS-232Cからの制御を禁止します。
UNLOCKED	RS-232Cからの制御を許可します。

- 3  を押して、通常画面に戻ります。

各種調整と設定

■ ADJUSTMENT (INPUT2)

【MANUAL / AUTO】

機能	CLOCK、PHASE、H-POS、V-POS を調整します。
調整範囲	MANUAL / AUTO
MANUAL	CLOCK、PHASE、H-POS、V-POS を選択して調整します。 CD-ROM (付属) 内の調整用パターンを利用してそれぞれ調整することもできます。 詳しくは調整のための画面表示について (P.42 ページ) を参照してください。
AUTO	現在入力されている映像信号を使って、自動的に最適な状態に調整します。

【MANUAL (CLOCK)】

機能	該当映像のサンプリングクロックの周波数を調整します。 縦じま状のちらつきがあるときに調整してください。 調整用パターン (P.42 ページ) を利用するときは、調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように調整してください。
調整範囲	0 ~ 255
出荷状態	127
+方向	クロック周波数が上がります。
-方向	クロック周波数が下がります。

【MANUAL (PHASE)】

機能	該当映像のサンプリングクロックの位相を調整します。 細かな文字などを出したときにコントラストがつかなくなったり、映像の端にちらつきが出るときに調整してください。 調整用パターン (P.42 ページ) を利用するときは、調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように調整してください。
調整範囲	0 ~ 255
出荷状態	127
+方向	クロックの位相を進めます。
-方向	クロックの位相を戻します。

【MANUAL (H-POS)】

調整範囲	0 ~ 255
出荷状態	127
+方向	映像が右方向にずれます。
-方向	映像が左方向にずれます。

【MANUAL (V-POS)】

調整範囲	0 ~ 255
出荷状態	127
+方向	映像が上方向にずれます。
-方向	映像が下方向にずれます。

■ GAIN CONTROL (INPUT2)

【MANUAL / AUTO】

機能	BLACK LEVEL、CONTRAST を調整します。
調整範囲	MANUAL / AUTO
MANUAL	BLACK LEVEL、CONTRAST を選択して調整します。
AUTO	現在入力されている映像信号を使って、BLACK LEVEL、CONTRAST を自動的に最適な状態に調整します。

【MANUAL (BLACK LEVEL)】

調整範囲	0 ~ 31
出荷状態	15
+方向	映像信号を全体的に明るくします。
-方向	映像信号を全体的に暗くします。

【MANUAL (CONTRAST)】

調整範囲	0 ~ 31
出荷状態	15
+方向	映像の明るい部分をより明るくします。
-方向	映像の明るい部分の明るさを抑えます。

■ WHITE BALANCE

【THRU / COOL / ● / STD / ● / WARM / USER】 (INPUT1 / INPUT2)

調整範囲	THRU / COOL / ● / STD / ● / WARM / USER
出荷状態	STD
THRU(スルー)	入力信号レベルをそのまま表示します。この項目は INPUT1 のときのみ選択可能です。
COOL(寒色)	映像が全体的に青っぽくなります(色温度が高くなります)。
●	映像が全体的に STD(標準) よりもやや青っぽくなります。
STD(標準)	画像を標準的な設定にします。
●	映像が全体的に STD(標準) よりもやや赤っぽくなります。
WARM(暖色)	映像が全体的に赤っぽくなります(色温度が低くなります)。
USER	R-CONTRAST(赤色コントラスト)、G-CONTRAST(緑色コントラスト)、B-CONTRAST(青色コントラスト) を選択して調整します。

【COPY to USER】 (INPUT1 / INPUT2)

調整範囲	OFF · SET
SET	COOL / ● / STD / ● / WARM に設定されている値を USER 設定にコピーします。

【USER(R-CONTRAST)】 (INPUT1 / INPUT2)

調整範囲	0 ~ 255
+方向	赤成分を明るくします。
-方向	赤成分を暗くします。

【USER(G-CONTRAST)】 (INPUT1 / INPUT2)

調整範囲	0 ~ 255
+方向	緑成分を明るくします。
-方向	緑成分を暗くします。

【USER(B-CONTRAST)】 (INPUT1 / INPUT2)

調整範囲	0 ~ 255
+方向	青成分を明るくします。
-方向	青成分を暗くします。

各種調整と設定(つづき)

【CONTRAST (映像)】 (INPUT3 / INPUT4)	
調整範囲	0 ~ 31
出荷状態	15
+方向	映像の明るい部分をより明るくします。
-方向	映像の明るい部分の明るさを抑えます。
【BLACK LEVEL (黒レベル)】 (INPUT3 / INPUT4)	
調整範囲	0 ~ 31
出荷状態	15
+方向	映像信号を全体的に明るくします。
-方向	映像信号を全体的に暗くします。
【TINT(色あい)】 (INPUT3 / INPUT4)	
調整範囲	0 ~ 31
出荷状態	15
+方向	肌色がマゼンタになる方向に色相を調整します。
-方向	肌色が緑になる方向に色相を調整します。
【COLORS(色の濃さ)】 (INPUT3 / INPUT4)	
調整範囲	0 ~ 31
出荷状態	15
+方向	色を濃くします。
-方向	色を薄くします (0 でモノクロ)。
【SHARPNESS (画質)】 (INPUT3 / INPUT4)	
調整範囲	0 ~ 31
出荷状態	15
+方向	画像がくっきりします。
-方向	画像がやわらかくなります。
【WHITE BALANCE (色温度)】 (INPUT3 / INPUT4)	
調整範囲	COOL / • / STD / • / WARM
出荷状態	STD
COOL(寒色)	映像が全体的に青っぽくなります (色温度が高くなります)。
•	映像が全体的にSTD (標準) よりもやや青っぽくなります。
STD(標準)	映像を標準的な設定にします。
•	映像が全体的にSTD (標準) よりもやや赤っぽくなります。
WARM(暖色)	映像が全体的に赤っぽくなります (色温度が低くなります)。

MODE SELECT 1 (INPUT2)

【480 LINES】	
機能	自動では区別のつかない映像信号の選択を行います。
調整範囲	852 / 848 / 640
出荷状態	640
【768 LINES】	
機能	自動では区別のつかない映像信号の選択を行います。
調整範囲	1366 / 1360 / 1280 / 1024
出荷状態	1024
【ENLARGE (エンラージ)】	
機能	映像の拡大倍率を設定します。
調整範囲	OFF / 2 × 2 / 3 × 3
出荷状態	OFF
【ENLARGE POS (エンラージ位置)】	
機能	元映像のどの部分を拡大するかを設定します。
調整範囲 (2 × 2)	0 ~ 3
調整範囲 (3 × 3)	0 ~ 8
出荷状態 (2 × 2)	0
【MULTI ZOOM】	
機能	エンラージ画面を調整します。
IMAGE ZOOM	拡大率を調整します。
H-POS	水平位置を調整します。
V-POS	垂直位置を調整します。

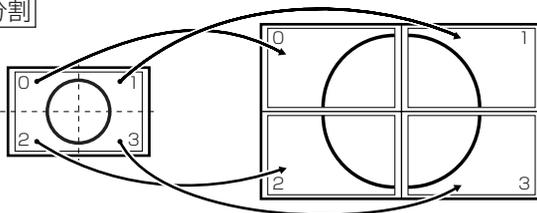
エンラージ

本機を4台または9台つないで設置し、1つの大きな画面として映像を表示させることができます。この場合、各ディスプレイは4分割または9分割された映像の各分割部分を拡大表示(エンラージ)します。

エンラージの使いかた

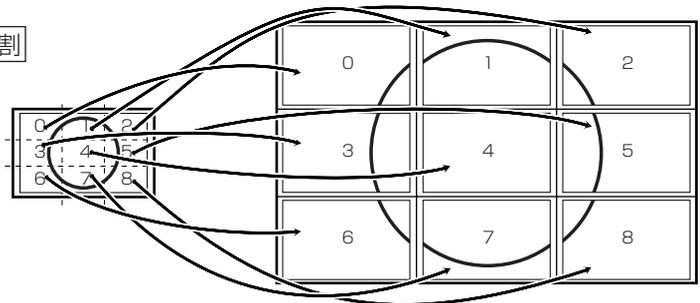
- 4台のディスプレイを設置したとき

4分割



- 9台のディスプレイを設置したとき

9分割



各種調整と設定(つづき)

■ MODE SELECT 2

【OFF TIMER (オフタイマー)】

機能	電源が切れるまでの時間を指定します。
調整範囲	0～23
出荷状態	0

【OSD H-POSITION】

機能	メニュー画面の水平表示位置を調整します。
調整方法	カーソルボタンの左右で表示位置を移動します。
出荷状態	画面中央

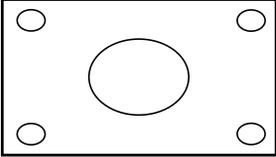
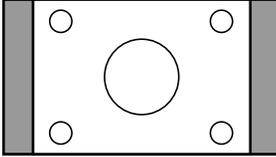
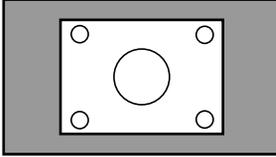
【OSD V-POSITION】

機能	メニュー画面の垂直表示位置を調整します。
調整方法	カーソルボタンの左右で表示位置を移動します。
出荷状態	画面中央

【ID NO SET】

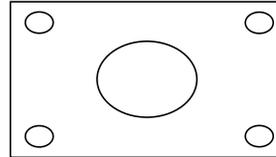
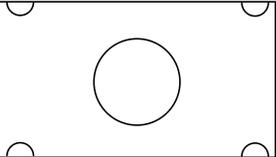
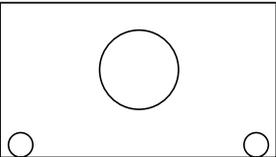
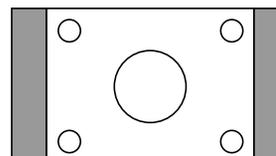
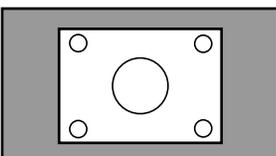
機能	RS-232Cで複数のセットを数珠つなぎに接続して制御 (45 ページ) をするとき使用する、セット固有の番号を設定します。
調整範囲	0～255
出荷状態	0
「入力」	実際に ID 番号として機能するのは 1～255 です。 (0 を設定すると ID 番号を設定していない状態と認識されます。) 設定は 255 までありますが、使用するケーブルの長さ、使用する環境などで実際に接続できる台数は変化しますのでご注意ください。 カーソルボタンの左右で桁移動、カーソルボタンの上下で数値の増減ができます。

■ 画面サイズ切換 (INPUT1/INPUT2)

WIDE	NORMAL	Dot By Dot
 <p>画面いっぱいに映します。</p>	 <p>入力信号の縦横比をくずさずに、画面の上下いっぱいに映します。</p>	 <p>接続したコンピュータからの入力信号の解像度ごとのパネル画像数で映します。(詳しくは63ページ「対応表示モード」を参照してください。)</p>

■ 画面サイズ切換 (INPUT3/INPUT4)

入力信号に合わせて、お好みの画面サイズを選ぶことができます。

WIDE	ZOOM 1	ZOOM 2
 <p>4:3 サイズの映像を画面いっぱいに映します。</p>	 <p>縦横比 4:3 で画面にすまなく映像を拡大します。</p>	 <p>ZOOM1 のサイズで字幕が切れる場合などにお使いください。</p>
NORMAL	Dot by Dot	
 <p>4:3 サイズの映像をそのまま映します。</p>	 <p>入力信号の解像度ごとのパネル画像数で表示します。</p>	



- 営利目的、または、公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、本機の画面サイズ切換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- エンラージ時(2×2、3×3設定時)は、画面サイズが「WIDE」に固定されます。
- 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、オリジナル映像(外部機器から入力されたテレビ放送やビデオソフトなどの映像)の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- ワイド映像でない通常(4:3)の映像を、画面サイズ切換え機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「NORMAL」にしてください。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換え、ADJUSTMENTメニューの「V-POS」(36ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- オリジナル映像のサイズ(シネスコサイズなど)によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。

各種調整と設定(つづき)

調整のための画面表示について(INPUT2)

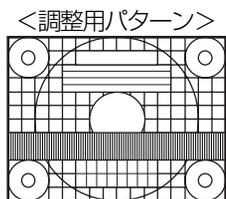
ADJUSTMENTメニュー(☞ 36ページ)を調整する場合は、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。

Windowsをお使いの場合は、CD-ROM(付属)内の調整用パターンを利用してください。

調整用パターンの呼び出し方

Windows 2000/XPを基準に、CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

1. ディスプレイとコンピューターを接続します。
2. CD-ROM(付属)をコンピューターのCD-ROMドライブにセットする。
3. 「マイコンピュータ」のCD-ROMを開く。
4. 「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。
調整用パターンが表示されます。



5. 調整が終わったら、コンピューターの[ESC]キーを押して、調整用プログラムを終了する。



- 使用するコンピューターの表示モードが6万5千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

セットアップ情報について(INPUT1 / INPUT2)

お使いのコンピュータやOSによっては、コンピューター側で本機のセットアップ情報のインストールが必要になることがあります。その場合は、下記の手順でセットアップ情報をインストールしてください。(お使いのコンピュータやOSによっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピューターの取扱説明書と併せてお読みください。)

セットアップ情報のインストール

Windows 2000の場合

Windows 2000に本機のセットアップ情報をインストールして設定します。
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

1. 本機とコンピューターを接続します。
2. CD-ROM(付属)をコンピューターのCD-ROMドライブにセットする。
3. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
4. 「画面」をダブルクリックする。
5. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
6. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
7. 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」が表示されたら「次へ」をクリックする。
8. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
9. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
10. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
11. 「次へ」をクリックし、モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
12. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
13. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
14. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

Windows XPの場合

Windows XPに本機のセットアップ情報をインストールして設定します。
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

1. 本機とコンピューターを接続します。
2. CD-ROM(付属)をコンピューターのCD-ROMドライブにセットする。
3. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選ぶ。
4. 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックし、「画面」をクリックする。
クラシック表示の場合は、「画面」をダブルクリックしてください。
5. 「設定」、「詳細設定」、「モニタ」の順にクリックする。
6. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
ハードウェアの更新ウィザードが表示されます。
「Windows Updateに接続しますか?」と表示された場合は、「いいえ、今回は接続しません」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。
7. 「一覧または特定の場所からインストールする」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
9. 「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
10. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
「Windowsロゴテストに合格していません…」と表示された場合は、「続行」をクリックしてください。
11. モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
12. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
13. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
14. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

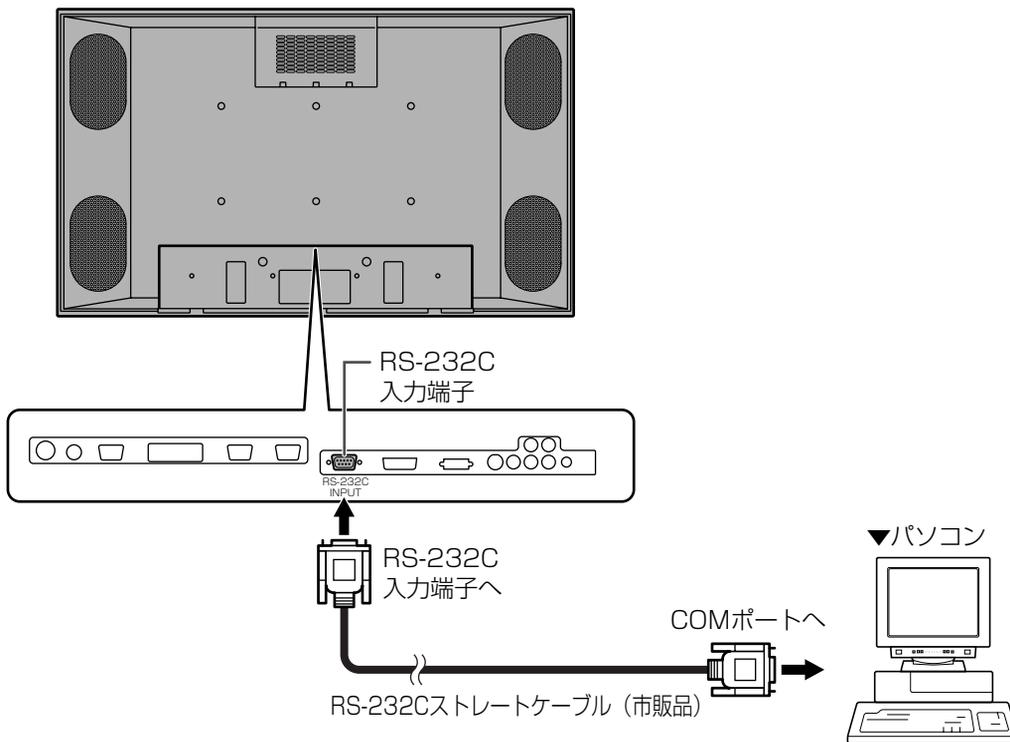
パソコンで本機を制御する

接続のしかた

1 パソコンと1対1に接続する……基本編

パソコンのCOMポート(RS-232Cコネクタ)と本機のRS-232C 入力端子をRS-232ケーブル(ストレート)で接続します。

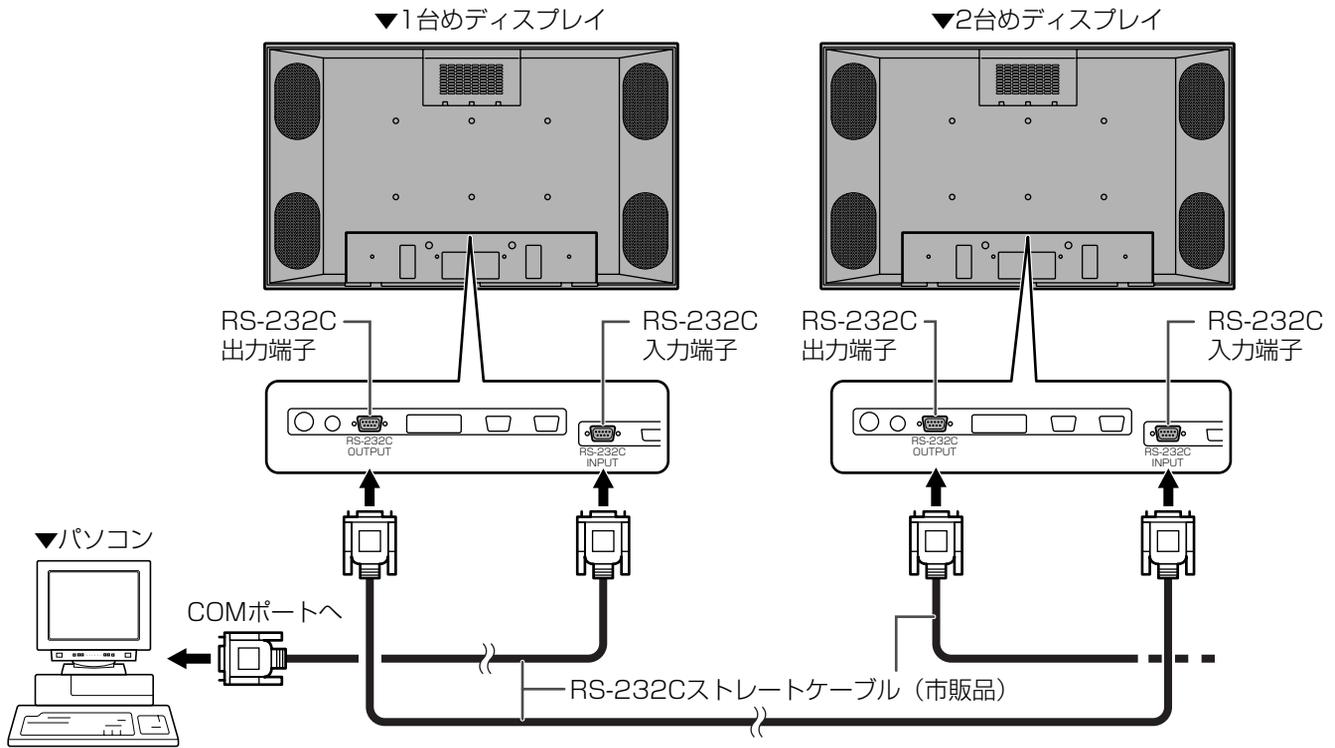
▼本体後面



2 パソコン 1 台から数珠つなぎに接続する…… 応用編

パソコンのCOMポート(RS-232Cコネクタ)と本体のRS-232C 入力端子をRS-232Cケーブル(ストレート)で接続します。

つぎに本体のRS-232C 出力端子と、2台目のRS-232C 入力端子をRS-232Cケーブル(ストレート)で接続します。以降、同様に3台め以降もRS-232Cケーブル(ストレート)で接続していきます。(接続可能なディスプレイ[本機]の台数は、使用するケーブルの長さや周囲の環境によって異なります。)



パソコンでの制御

パソコンで本機を制御する

通信仕様

パソコン側のRS-232C通信仕様をつぎのように設定してください。

ポーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

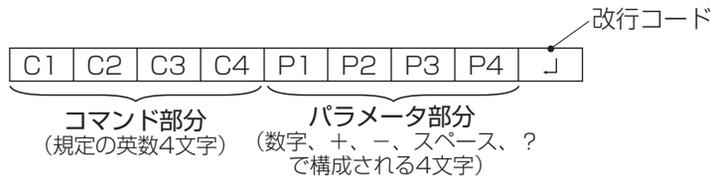
パソコンで本機を制御する(つづき)

通信手順

基本編

〈コマンド〉

PCから本機にコマンドを送ると、それに応じたレスポンスが返ってきます。



[例] VOLM0030

POWR_ _ _ _ 1 (「_」はスペース)

※パラメータ部分が4文字に足りない場合は、スペースで4文字になるように調整してください。

× VOLM30

○ VOLM_ _ _ 30 (「_」はスペース、「」は改行コード(ODH、0AHまたは0DH))

RS-232Cコマンド一覧表(53ページ)の中で、「DIRECTION」に「R」と入っているコマンドについては、「?」をパラメータにすることにより、現在の設定値を返します。

[例] ① ID番号が設定されていない場合

VOLM???? ←パソコンから本機へ(現在の音量設定値は?)

30 ←本機からパソコンへ(設定値: 30)

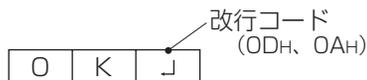
② ID番号が設定されている場合(下記の場合ID番号=1)

VOLM_ _ _ _ ? ←パソコンから本機へ(「_」はスペース)

30_001 ←本機からパソコンへ(「_」はスペース)

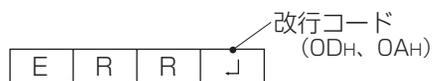
〈レスポンス〉

■コマンドの実行が正しく行われた場合



該当コマンドの実行が終わったら、返信されます。

■コマンドの実行が正しく行われなかった場合(※)



※該当するコマンドがない場合や、現在の状態では使用できないコマンドを使用した場合。(例. ビデオ映像表示で自動同期調整)

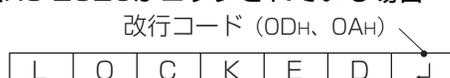
※パソコンと本機との接続が不完全などの理由により、通信自体が成立しない状態などでは、「ERR」を含め一切返信されません。

■コマンドの実行に時間がかかっている場合



一部の実行に時間がかかるコマンドの場合、戻り値として「WAIT」が返ってくることがあります。この場合、しばらく待つと「OK」もしくは「ERR」が返ってきます。この間に新たなコマンドを送信しても受け付けられません。

■RS-232Cがロックされている場合



RS-232C制御がロックされている場合(35ページ)は戻り値として「LOCKED」が返ってきます。

応用編

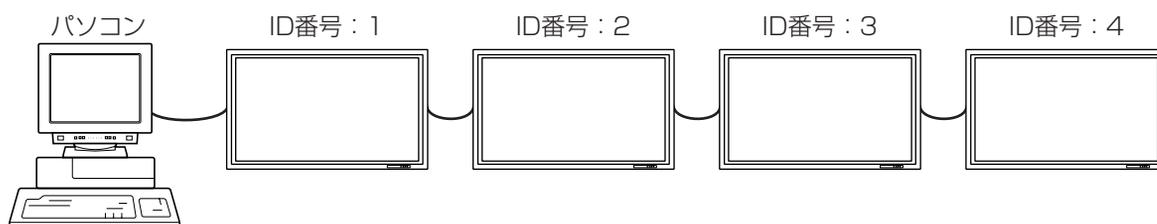
応用編では、数珠つなぎに接続された複数のセットを制御するためのコマンドについて解説します。基本的な通信部分は「基本編」と同じです。

〈ID番号〉

本機ではセットごとに固有のID番号を設定することができます(40ページ)。これにより、数珠つなぎにした複数台のセットのうち、特定のセットに対して制御を行うことができます。

セットはRS-232Cケーブルの長さや周囲の環境などにもよりますが、約20台まで接続することができます。ID番号の設定は、リモコンのボタンを使ってメニュー画面で設定するか、RS-232Cからコマンドで設定することができます。

【例】

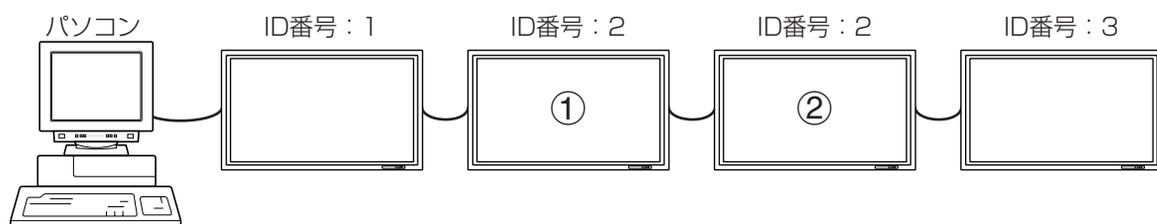


上のように接続されている場合、「ID番号4のセットのボリュームを20にする」といったことができます。

基本的に数珠つなぎにしたセットに対してID番号指定の制御を行う場合、ID番号が重複しないようにしてください。同じID番号が設定されたセットが複数あった場合、パソコンに最も近いものだけがID番号による制御を行うことができます。

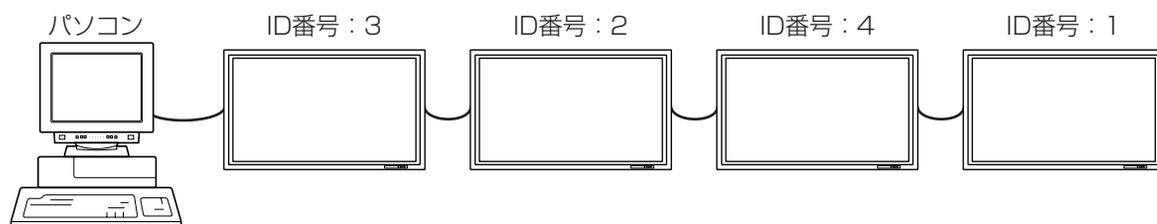
下の図のように設定されている場合、ID番号2でアクセスできるのは①のセットだけで、②のセットはID番号を使った制御ができません。

【例】



また、ID番号は必ずしもパソコンから近い方から昇順になっている必要はありません。つぎのように接続されても問題ありません。

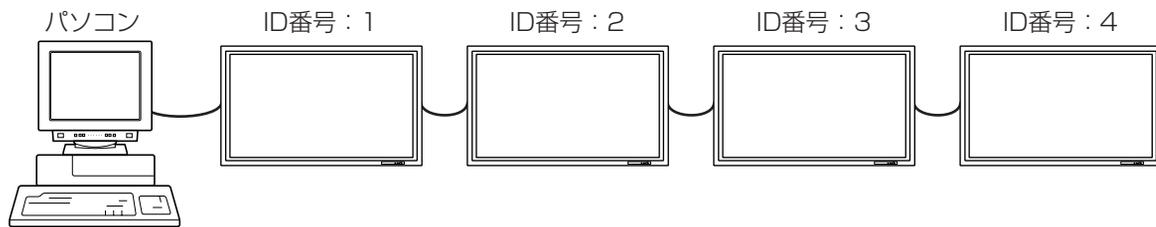
【例】



パソコンで本機を制御する(つづき)

〈ID制御用のコマンド〉

この項で説明を行うコマンドの例は、下記の接続とID番号設定の場合です。



IDST……このコマンドを受信したセットは、自分のID番号をパラメータ部分の値に設定する。

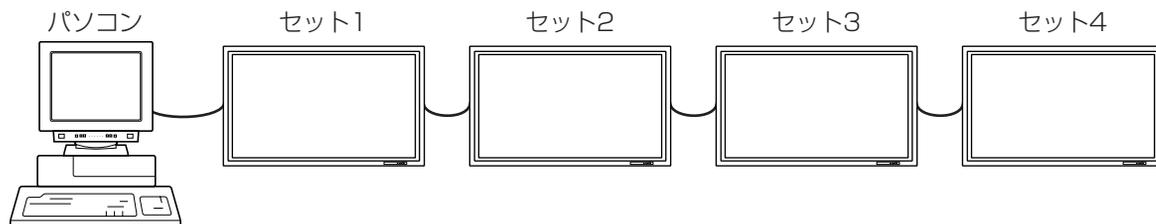
【例】IDST0001

OK_001 ←このセットのID番号が1番に設定された

お知らせ

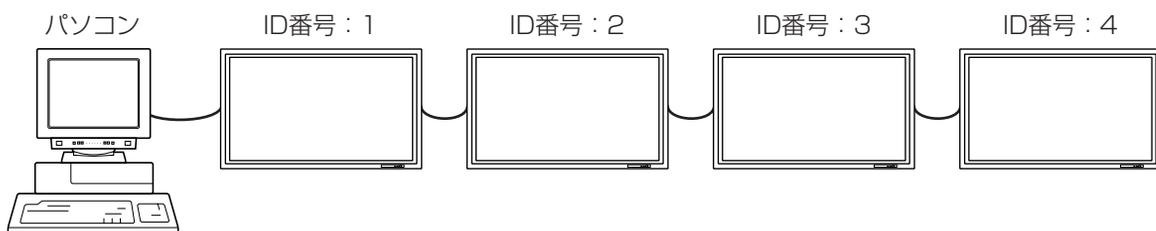
システム結合後、IDSTコマンドをリピーター制御(☞ 50ページ)で利用すると、パラメータの値から順に自動的にIDを設定させることができます。

【例】



以上のように接続した後、「IDST001+」とコマンドすると、以下のように自動的にID番号が設定されます。

【例】



IDST001+ ←ID設定コマンド(リピーター制御)

WAIT

OK_001 ←ID番号=1からのOK返答

OK_002 ←ID番号=2からのOK返答

OK_003 ←ID番号=3からのOK返答

OK_004 ←ID番号=4からのOK返答(終了)

IDSL……このコマンドのつぎのコマンドは、このコマンドのパラメータをID番号とするセットに向けたものになる。

[例] IDSL0002 ←このつぎのコマンドはID番号=2のセットへのもの
 WAIT ←ID番号=2のセットを探しています
 OK_002 ←ID番号=2のセットが見つかりました
 VOLM0030 ←(ID番号=2の)ボリュームを30に設定する
 WAIT ←設定に行っています
 OK_002 ←ID番号=2からのOK返答
 VOLM0020 ←ボリュームを20に設定する
 OK_001 ←ID番号=1(PCに直接接続されている)のセットのボリュームが20に設定された

IDSLコマンドは、
直後の1回のみ有効

IDLK……このコマンド以降のコマンドは、このコマンドのパラメータをID番号とするセットに向けたものになる。

[例] IDLK0002 ←このつぎのコマンドはID番号=2のセットへのもの
 WAIT ←ID番号=2のセットを探しています
 OK_002 ←ID番号=2のセットが見つかりました
 VOLM0030 ←(ID番号=2の)ボリュームを30に設定する
 WAIT ←設定に行っています
 OK_002
 VOLM0020 ←(ID番号=2の)ボリュームを20に設定する
 WAIT
 OK_002
 IDLK0000 ←ID番号の固定解除
 WAIT ←IDLKを解除しています
 OK_002 ←IDLKの解除終了
 VOLM0010
 OK_001 ←(パソコンに直接接続されている)ID番号=1のセットのボリュームが10に設定された(IDLKが解除されている)

IDLKコマンドは、固定解除する
か、電源が切れるまで有効

IDCK……現在そのセットに設定されているID番号と、されていればIDLKにより指定されたID番号を画面上に表示する。

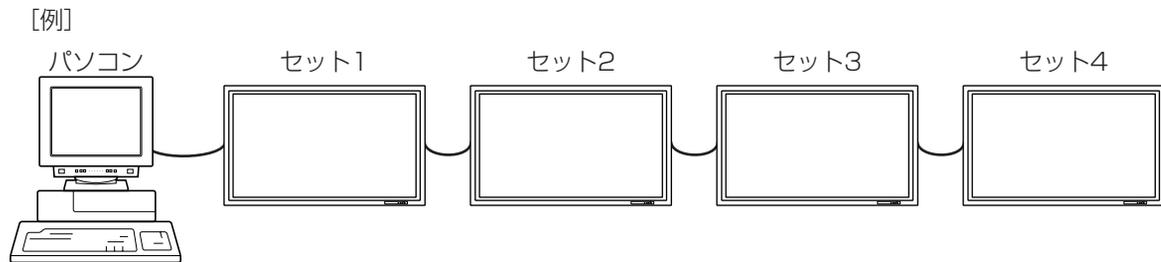
[例] (IDLK0002実行後)
 IDCK0000 ←(引数は意味をもちません)
 ID : 001 IDLK : 002 ←返り値。これ以外にセットの画面上にも表示されます。
 IDCK000+ ←リピーター制御
 WAIT (リピーター制御でコマンドを使用すると、IDSLおよびIDLKによるID指定はキャンセルされます。)
 ID : 001 IDLK : 002
 ID : 002 IDLK : 002
 ID : 003 IDLK : 002
 ID : 004 IDLK : 002

パソコンで本機を制御する(つづき)

〈リピーター制御〉

数珠つなぎになっている複数のセットの設定を一度に変更するための機能を持っています。これを便宜的に「リピーター制御」と呼びます。

接続可能なディスプレイ[本機]の台数は、使用するケーブルの長さや周囲の環境によって異なります。リピーター制御は、ID番号を設定していなくても利用することができます。



上のように接続されている場合、「すべてのセットの入力をINPUT1にする」といったことができます。

〈リピーター制御のコマンド〉

リピーター制御は、パラメータの4文字めに「+」(プラス)をつけることにより行われます。

[例] VOLM030+ ←すべてのセットのボリュームを30に設定する。

リピーター制御時のレスポンスは、接続されたセットすべてのものが返ります(※)。

特定のセットからの返り値が来たことを判断したい場合などは、各セットにID番号を設定しておいてください。また、レスポンスが返ってこない場合、原因としてそのセットがコマンドを受け取れていないか処理が終了していないことが考えられますので、新しいコマンドを送っても実行されない可能性があります。

※：電源「切」をリピーター制御で行った場合は、先頭のセットからしか返答はありません。

[例] (4台接続されていて、ID番号1～4が設定されている)

VOLM030+

WAIT

OK_001

OK_002

OK_003

OK_004 ←4台接続されている場合、4台め(いちばん最後)のセットの返信が返ってきたあとに新しいコマンドを送信すれば確実な動作が見込めます。

リピーター制御は、設定値の読み出しにも使えます。

[例] VOLM???+

WAIT

10_001

20_002

30_003

40_004

←すべてのセットの音量設定値が返信された。

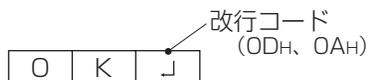


- ID指定(IDSL、IDLK)中にリピーター制御を行うと、ID指定はキャンセルされます。

〈 応用編 のレスポンス〉

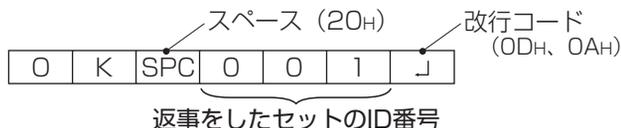
■ コマンドの実行が正しく行われた場合

① ID番号が設定されていない場合



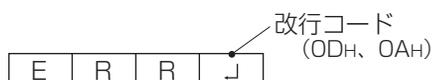
該当コマンドの実行が終わったら、返信されます。

② ID番号が設定されている場合



■ コマンドの実行が正しく行われなかった場合(※)

① ID番号が設定されていない場合



② ID番号が設定されている場合



※該当するコマンドがない場合や現在の状態では使用できないコマンドを使用した場合
(例. ビデオ表示で自動同期調整)

※本機との接続が不完全などの理由により通信自体が成立しない状態・場合などでは、「ERR」を含め一切返信されません。

※指定のID番号が設定されたセットがない(例: IDSL0002回としたが、ID=002に設定されたセットが見つからなかった)場合には、返信がありません。

パソコンで本機を制御する(つづき)

■コマンドの実行に時間がかかっている場合

W A I T J

↖ 改行コード
(0DH, 0AH)

一部の実行に時間がかかるコマンドの場合、戻り値として「WAIT」が返ってくる場合があります。この場合、しばらく待つとなんらかの戻り値が返ってきます。この間に新たなコマンドを送信しても受け付けられません。

「WAIT」にはID番号は付与されません。

● WAITが返ってくる事例

- ① リピーター制御を使用した場合
- ② IDSL、IDLKコマンドを使用した場合
- ③ RSET、INPS、ASNC、WIDE、EMAG、EPOS、PXSL、POWRコマンドを使用した場合

■RS-232Cによる制御がロック(☞35ページ)されているとき。

L O C K E D J

↖ 改行コード
(0DH, 0AH)

■コマンド待ち状態がタイムアウトした場合

T I M E O U T J

↖ 改行コード
(0DH, 0AH)

■コマンド待ち状態がタイムアウトした場合(コマンドを待っていたセットがID番号設定されている場合(下の例では「001」))

T I M E O U T S P C 0 0 1 J

↖ スペース (20H)

↖ 改行コード
(0DH, 0AH)

■数値などパラメータに「?」を使って現在のパラメータを読み出した場合

- ① ID番号が設定されていない場合
[例] VOLM????
10
- ② ID番号が設定されている場合(下の例では「001」)
[例] VOLM????
10_001

【通信間隔について】

- OKまたはERRが返ってくるまでの間につぎのコマンドを送信しても、基本的に無視されます。(例外：ASNCコマンドの強制終了)
- コマンドレスポンスからつぎのコマンド送信までは、100ms程度間隔を空けて行ってください。

```
VOLM0020
OK
      |
      | 100ms程度空ける
      v
INP10000
OK
```

RS-232Cコマンド一覧表

【コマンド一覧表の見かた】

- Command : コマンド部分(☞ 46ページ)
- Direction : W 「Parameter」をパラメータ部分(☞ 46ページ)に設定して使用することにより、「制御／返信内容」に書かれたように機能する。
 R パラメータ部分(☞ 46ページ)パラメータに、「????」または「_____?」または「???+」(リピータ制御時)を設定することにより、「Reply」に示す返り値が得られる。)
- Parameter : パラメータ部分(☞ 46ページ) 引数。
- Reply : レスポンス 返り値。
- 電源待機状態で使える : 電源待機状態でも使えるコマンドに○。

電源制御／入力切替等

制御項目	Command	Direction	Parameter	Reply	制御 / 返信内容	電源待機状態 で使える
電源制御	POWR	W	0		電源待機状態へ移行	○
			1		電源待機状態から復帰	
		R		0	電源待機状態 (リモコン、操作キー、RS-232C)	
				1	通常動作状態	
				2	信号入力待機状態	
入力切替	INPS	W	0		トグルで入力切替	○
			1		INPUT1 : DVI	
			2		INPUT2 : アナログ RGB	
			3		INPUT3 : D4 端子	
			4		INPUT4 : S-Video・Video	
		R		1	INPUT1 : DVI	
				2	INPUT2 : アナログ RGB	
				3	INPUT3 : D4 端子	
				4	INPUT4 : S-Video・Video	

パソコンで本機を制御する(つづき)

映像調整(PCデジタルRGB入力時)

制御項目		Command	Direction	Parameter	Reply	制御 / 返信内容	電源待機状態 で使える
ホワイトバランス	THRU	CTMP	WR	0	0		○
	COOL		WR	1	1		
	・		WR	2	2		
	STD		WR	3	3		
	・		WR	4	4		
	WARM		WR	5	5		
	USER		WR	6	6		
	R-CONTRAST	CRTR	WR	0~最大値	0~最大値		
	G-CONTRAST	CRTG	WR	0~最大値	0~最大値		
	B-CONTRAST	CRTB	WR	0~最大値	0~最大値		
入力解像度	解像度チェック	PXCK	R		—	現在の解像度を○○○、○○○の形で返信	—
画面サイズ		WIDE	WR	1	1	WIDE	○
				2	2	NORMAL	
				3	3	Dot by Dot	

映像調整(PCアナログRGB入力時)

制御項目		Command	Direction	Parameter	Reply	制御 / 返信内容	電源待機状態で使える
自動同期調整	AUTO ADJUSTMENT	ASNC	W	1		PCアナログRGB入力時以外はERRを返す。	-
位置調整・画面調整	クロック周波数	CLCK	WR	0~最大値	0~最大値		-
	クロック位相	PHSE	WR	0~最大値	0~最大値		
	水平位置	HPOS	WR	0~最大値	0~最大値		
	垂直位置	VPOS	WR	0~最大値	0~最大値		
自動ゲインコントロール	AUTO ADJUSTMENT	AGIN	W	1		PCアナログRGB入力時以外はERRを返す。	-
映像調整	黒レベル	BLVL	WR	0~最大値	0~最大値		○
	コントラスト	CONT	WR	0~最大値	0~最大値		
ホワイトバランス	COOL	CTMP	WR	1	1		○
	・		WR	2	2		
	STD		WR	3	3		
	・		WR	4	4		
	WARM		WR	5	5		
	USER		WR	6	6		
	R-CONTRAST	CRTR	WR	0~最大値	0~最大値		
	G-CONTRAST	CRTG	WR	0~最大値	0~最大値		
	B-CONTRAST	CRTB	WR	0~最大値	0~最大値		
入力解像度	解像度チェック	PXCK	R		-	現在の解像度を○○○、○○○の形で返信	-
	解像度設定	PXSL	WR	0	0	垂直 768) 1366 x 768	
				1	1	垂直 768) 1360 x 768	
				2	2	垂直 768) 1280 x 768	
				3	3	垂直 768) 1024 x 768	
				4	4	垂直 480) 852 x 480	
				5	5	垂直 480) 848 x 480	
6	6	垂直 480) 640 x 480					
エンラージ	倍率設定	EMAG	WR	0	0	オフ	-
				1	1	2 x 2	
				2	2	3 x 3	
	表示位置 (2 x 2)	EPOS	WR	0	0	倍率設定: 2 x 2) 左上	
				1	1	倍率設定: 2 x 2) 右上	
				2	2	倍率設定: 2 x 2) 左下	
				3	3	倍率設定: 2 x 2) 右下	
	表示位置 (3 x 3)	EPOS	WR	0	0	倍率設定: 3 x 3) 上段左	
				1	1	倍率設定: 3 x 3) 上段中	
				2	2	倍率設定: 3 x 3) 上段右	
				3	3	倍率設定: 3 x 3) 中段左	
				4	4	倍率設定: 3 x 3) 中段中	
				5	5	倍率設定: 3 x 3) 中段右	
				6	6	倍率設定: 3 x 3) 下段左	
7				7	倍率設定: 3 x 3) 下段中		
8	8	倍率設定: 3 x 3) 下段右					
画面サイズ	WIDE	WR	1	1	WIDE	○	
			2	2	NORMAL		
			3	3	Dot by Dot		

パソコンで本機を制御する(つづき)

映像調整(D映像/S映像・ビデオ映像入力時)

制御項目		Command	Direction	Parameter	Reply	制御 / 返信内容	電源待機状態 で使える
ホワイトバランス	コントラスト	CONT	WR	0~最大値	0~最大値		○
	黒レベル	BLVL	WR	0~最大値	0~最大値		
	色の濃さ	COLR	WR	0~最大値	0~最大値		
	色合い	TINT	WR	0~最大値	0~最大値		
	画質	SHRP	WR	0~最大値	0~最大値		
	COOL (色温度)	CTMP	WR	1	1		
	・		WR	2	2		
	STD (色温度)		WR	3	3		
	・		WR	4	4		
WARM (色温度)	WR		5	5			
画面サイズ		WIDE	WR	1	1	WIDE	○
				2	2	ZOOM 1	
				3	3	ZOOM 2	
				4	4	NORMAL	
				5	5	Dot by Dot	

特殊制御関連

制御項目		Command	Direction	Parameter	Reply	制御 / 返信内容	電源待機状態で使える
OFF TIMER		OFTM	W	0		OFF	-
				1 ~ 23		オフタイマー	
			R	0		OFF	
				1 ~ 23		残時間	
ID 番号制御	ID 番号設定	IDST	W	0-255		ID 番号の設定 (0 は ID 番号の設定無し状態)、IDST001+ で自動 ID 設定	○
					0-255	ID 番号の設定番号を返す。	
	対象 ID 設定 (1 回)	IDSL	W	1-255		ID を指定してコマンドを実行させる。 このコマンドの次に来るコマンドだけを対象の ID に対して命令。	○
				0		ID 番号が指定されていた場合、それをクリアする。	
	対象 ID 設定 (複数回)	IDLK	W	1-255		ID を指定してコマンドを実行させる。 このコマンドの次以降に来るコマンドは全て対象の ID に対しての命令になる。	○
0					ID 番号が指定されていた場合、それをクリアする。		
	ID チェック	IDCK	W		ID 値	選択中の ID 番号を画面上に表示する。	○
INFORMATION	MODEL	INF1	R		値		○
	SERIAL NO	SRNO	R		値		○
表示モード		BMOD	WR	0	0	標準	○
				1	1	省電力	
				2	2	あざやか	
輝度	VLMP	WR		0~最大値	0~最大値	明るさ	○
音量調整	VOLM	WR		0~最大値	0~最大値		○
消音			WR	0	0	OFF	-
				1	1	ON	
ALL リセット	RSET	W		0		ALL RESET	-
OSD DISPLAY			WR	0	0	OSD DISPLAY ON	○
				1	1	OSD DISPLAY OFF	
ADJUSTMENT LOCK			WR	0	0	ADJUSTMENT UNLOCKED	○
				1	1	ADJUSTMENT LOCKED	
LED			WR	0	0	LED ON	○
				1	1	LED OFF	

パソコンでの制御

パソコンで本機を制御する(つづき)

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては60ページをご覧ください。

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
 映像も音声も出ない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが抜けていませんか。 主電源スイッチが「切」になっていませんか。 リモコンのPOWER（電源）ボタンが「切」（電源ランプオレンジ色点灯）になっていませんか。 外部機器は接続されていますか。 入力切換は正しく選択されていますか。 外部機器は動作（再生）状態になっていますか。 	25 30 18～23 31 -
 映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 対応可能な信号でない場合が考えられます。 	-
ディスプレイが消灯する	<ul style="list-style-type: none"> 休止状態になっていませんか。 	30
リモコンが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。リモコン内部に極性の記載があります。 リモコンの乾電池が消耗していませんか。 リモコンはディスプレイのリモコン受光部に向けてお使いください。 メニュー表示を非表示に設定していませんか。 	17 35
 音が左右逆になる 片方しか音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音声ケーブルは正しく接続されていますか。 外部スピーカーの接続ケーブルが左右逆に接続されたり、片方が外れたりしていませんか。 	18～23 24
 映像は出るが 音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音量調整が最小になっていませんか。 ビデオ映像・S映像・コンポーネント映像は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。 選択されている映像端子に対応した音声端子に音声を入力していますか。 	31 18～23 18～23
 色がうすい 色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none"> 色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。 ケーブルの接続は正しいですか。 	37～38 18～23
映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> 対応可能な信号でない場合が考えられます。映像入力D端子はD1、D2、D3とD4のみに対応しています。D5などには対応していません。 	21

■ 温度上昇時のお知らせ表示について

表示内容：

- 電源ランプが赤く点灯し、自動的に電源待機状態になります。

処置のしかた：

- 温度が上昇して電源待機状態になったときは、主電源スイッチを入れなおすことで回避することができますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、すぐにまた電源待機状態になります。
- 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。後面に開いている通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
- 本機の内部や通風孔にホコリがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるホコリはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源ランプが赤く点滅している時はファンの異常が考えられます。修理をご依頼ください。(☞ 次ページ)

このようなときも故障ではありません

ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。



アフターサービスについて

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から1年間です(ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません)。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■ 補修用性能部品について

当社は、本製品の補修用性能部品を製造打切後、7年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ 修理を依頼されるときは(出張修理)

先に「故障かな?と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入のの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- 品名：インフォメーションディスプレイ
- 形名：PN-455/PN-H455
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけ具体的に)
- ご住所(付近の目印も併せてお知らせください。)
- お名前
- 電話番号
- 訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入のの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内(☎次ページ)

個人情報取り扱いについて

商品の不具合修復にあたり、お客様の氏名、住所、その他修理を実施するために必要な情報(以下、お客様の個人情報といえます)をご提供いただきますが、提供いただいた情報は以下に従って利用、管理いたします。

1. 個人情報の利用目的について

お客様の個人情報は、下記の目的に利用させていただきます。下記以外の目的で個人情報を利用する場合は改めて利用目的をお知らせし、お客様のご同意をいただくことといたします。

- (1) 修理サービスの提供および代金決済
- (2) 製品保証、修理などに関するユーザーサポートの提供

2. 個人情報の保管について

上記1.項の利用目的を達成するために必要な者以外の者が個人情報に不当に触れることがないよう合理的な範囲内で厳重な管理、保管を行います。

3. 個人情報の第三者への提供について

下記の場合を除き、お客様のご同意なく、個人情報を第三者に開示することはありません。

- (1) 前記1.項の目的のために、当社の事業協力会社に対して開示が必要な場合。
ただし、当該事業協力会社に対しては、個人情報の厳重な管理、目的以外の使用禁止および第三者への開示禁止を遵守させます。
- (2) 司法機関または行政機関から法的業務を伴う要請を受けた場合。

お客様ご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店もしくは下記のご相談窓口へご連絡ください。

※電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2005年3月現在)

修理相談窓口

シャープドキュメントシステム株式会社

<受付時間> 月曜日～土曜日：午前9時～午後5時40分(日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

北海道	札幌技術センター (011)641-0751 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17 釧路 (0154)24-8191 〒085-0051 釧路市光陽町8-13 函館 (0138)52-5190 〒040-0001 函館市五稜郭町31-17 帯広 (0155)21-2881 〒080-0011 帯広市西1条南26-19-1 旭川技術センター (0166)22-8284 〒070-0031 旭川市一条通4-左10	山梨	山梨 (055)228-3833 〒400-0049 甲府市富竹2-1-17	奈良	奈良技術センター (0743)53-2023 〒639-1103 大和郡山市美濃庄町492
青森	青森技術センター (017)738-7778 〒030-0121 青森市妙見3-3-4 八戸 (0178)45-2631 〒031-0802 八戸市小中野2-8-16	神奈川	横浜技術センター (045)753-9540 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23 相模原技術センター (045)753-9540 〒229-1122 相模原市横山2-2-12 湘南技術センター (045)753-9540 〒254-0013 平塚市田村4-14-36	和歌山	和歌山技術センター (073)445-6298 〒641-0031 和歌山市西小2里2-4-91
岩手	岩手技術センター (019)638-6085 〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1	長野	松本技術センター (0263)27-1636 〒399-0002 松本市芳野8-14 長野技術センター (026)293-6360 〒388-8014 長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1	島根	松江技術センター (0852)21-6110 〒690-0017 松江市西津田3-1-10
秋田	秋田技術センター (018)865-1258 〒010-0941 秋田市川尻町大川反170-56	富山	富山技術センター (076)451-3933 〒930-0997 富山市新庄北町5-63	鳥取	鳥取 (0857)28-4222 〒680-0942 鳥取市湖山町東4-27-1
宮城	仙台技術センター (022)288-9161 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27	石川	金沢技術センター (076)249-9033 〒921-8801 石川郡野々市町御経家4-103	岡山	岡山技術センター (086)292-5830 〒701-0301 都窪郡早島町大字矢尾828
福島	福島技術センター (024)946-0196 〒963-0111 郡山市安積町荒井字方八丁33-1 いわき (0246)28-2487 〒970-8033 いわき市自由ヶ丘37-10	福井	福井 (0776)53-6050 〒918-8206 福井市北四ツ居町625	広島	広島技術センター (082)874-6100 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4 東広島 (0824)28-3065 〒739-0142 東広島市八本松東4-3-30
新潟	新潟技術センター (028)634-0256 〒950-0993 新潟市上中町1-7-21 長岡 (0258)23-1850 〒940-1104 長岡市埴田屋町字崩2600	岐阜	岐阜技術センター (058)274-7996 〒500-8358 岐阜市六条南3-12-9	山口	山口技術センター (083)972-4525 〒754-0024 吉敷郡小郡町若草町4-12
栃木	宇都宮技術センター (028)634-0256 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41	静岡	静岡技術センター (0543)44-5621 〒424-0067 静岡市清水島坂1170-1 沼津 (0559)24-1028 〒410-0062 沼津市宮前町11-4	香川	高松技術センター (087)823-4980 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
群馬	前橋技術センター (027)252-7311 〒371-0855 前橋市問屋町1-3-7	愛知	名古屋技術センター (052)332-2758 〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5 豊橋技術センター (0532)54-1830 〒440-0086 豊橋市下地町橋口17-1	徳島	徳島 (088)625-8840 〒770-0813 徳島市中常三島町3-11-14
茨城	水戸技術センター (029)243-0909 〒310-0851 水戸市千波町1963	三重	三重技術センター (059)231-1573 〒514-0131 津市あかつか4丁目6-4	高知	高知 (088)883-7039 〒781-8104 高知市高須1-14-43
埼玉	埼玉技術センター (048)666-7148 〒330-0038 さいたま市宮原町2-107-2 埼玉東技術センター (048)979-6459 〒343-0804 越谷市大字南秋島346-1	京都	京都技術センター (075)681-9551 〒601-8102 京都市南区上鳥羽宮田町48	愛媛	松山技術センター (089)973-0121 〒791-8036 松山市高岡町178-1
千葉	千葉技術センター (043)299-8855 〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2 西千葉技術センター (047)368-8346 〒270-2231 松戸市総台295-1	北近畿	北近畿 (0773)23-6996 〒620-0054 福知山市末広町6-13	福岡	福岡技術センター (092)572-2617 〒816-0081 福岡市博多区井田2-12-1 南福岡 (0942)45-4551 〒839-0812 久留米市山川安居野3-12-47
東京	東京フィールドサポートセンター 第1技術センター (03)3260-5253 〒162-8408 東京都新宿区市谷八幡町8 第2技術センター (03)3624-7476 〒130-8610 東京都墨田区石原2-12-3 第3技術センター (03)3973-7789 〒174-0074 東京都板橋区東新町1-33-11 西東京技術センター (042)583-1993 〒191-0003 日野市日野台5-5-4	滋賀	滋賀技術センター (077)543-2331 〒520-2151 大津市栗林町11-35	大分	大分技術センター (097)552-2164 〒870-0913 大分市松原町3-5-3
		大阪	大阪フィールドサポートセンター カスタマシステム技術部 (06)6796-5430 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19 堺技術センター (072)245-5855 〒590-0824 堺市老松町1-39	長崎	長崎技術センター (0957)53-3858 〒856-0817 大村市古賀島町613-3
		兵庫	神戸技術センター (078)452-1762 〒658-0082 神戸市東灘区魚崎北町1-6-18	熊本	熊本技術センター (096)372-1251 〒862-0975 熊本市新屋敷3-15-17
			姫路技術センター (0792)66-8295 〒671-2222 姫路市青山5-7-7	鹿児島	鹿児島技術センター (099)259-0628 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町12-1
				宮崎	宮崎 (0985)28-8371 〒880-0007 宮崎市原町4-12

沖縄シャープ電機株式会社

<受付時間> 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時40分(土・日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

沖縄 沖縄シャープ電機(株) (098)861-0866
〒900-0002 那覇市曙2-10-1

付録

お客様ご相談窓口のご案内

おもな仕様

■製品仕様

形名	PN-455 / PN-H455		
液晶表示素子	45型ワイド(対角113.1cm) ASV低反射ブラックTFT液晶		
最大解像度	1920 × 1080		
最大表示色	1677万色(8ビット)		
視野角	左右170° / 上下170° (コントラスト比≥10)		
表示画面サイズ	横985.9mm × 縦554.6mm		
映像入力信号	デジタルDVI規格1.0準拠、アナログRGB(0.7Vp-p) [75Ω]		
同期入力信号	水平/垂直セパレート(TTL:正/負)、シンク・オン・グリーン、コンポジット・シンク(TTL:正/負)		
ビデオ信号方式	NTSC(3.58MHz)		
プラグ&プレイ	VESA DDC2B対応		
パワーマネージメント	VESA DPMS準拠、DVI DMPM準拠		
入力端子	コンピューター信号	デジタル	DVI-D24ピン(1系統)
		アナログ	ミニD-sub15ピン(3列)(1系統)
	コンピューター音声	φ3.5mmミニステレオジャック(1系統)	
	シリアル	RS-232C	
	ビデオ映像	BNC(1系統) ※1	
	S映像	1系統 ※1	
	D4映像	D端子(1系統)	
	コンポーネント映像 ※2		
音声	RCAピン(L/R 1系統)		
出力端子	コンピューター信号	アナログ※3	ミニD-sub15ピン(3列)(1系統)
	シリアル	RS-232C	
	音声	RCAピン(L/R 1系統)	
	スピーカー	10W+10W [6Ω]	
電源	AC100V 50/60Hz		
使用温度条件	0~40℃		
使用湿度条件	20~80%(結露なきこと)		
消費電力	312W、休止時18W、待機時2.9W		
外形寸法	幅約1,089mm × 奥行約96mm × 高さ約645mm(突起部を除く)		
質量	約27kg		

※1 S映像入力端子に接続した機器の映像を優先して表示します。

※2 市販のコンポーネント変換アダプターが必要になります。

※3 アナログコンピューター入力信号のスルー出力です。プラグ&プレイには対応していません。

■パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、DVI DMPMに準拠しています。本機のパワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやコンピューターも同規格に適合している必要があります。

DPMS: Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	312W	あり	あり
STANDBY	無表示	18W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

DMPM: Digital Monitor Power Management

DMPMモード	画面	消費電力
Monitor ON	表示	312W
Active OFF	無表示	18W

■DDC(プラグ&プレイ)

本機は、VESAのDDC(Display Data Channel)規格をサポートしています。

DDCとは、ディスプレイとコンピューターのプラグ&プレイを行うための信号規格です。ディスプレイとコンピューターの間で解像度などに関する情報を受け渡します。この機能は、コンピューターがDDCに対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。

DDCには、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2Bに対応しています。

PCデジタル／アナログ入力端子の対応信号

- 映像 アナログRGB (0.7Vp-p) [75Ω]
 DVI(デジタルビジュアルインターフェース)規格1.0準拠
- 同期 H/Vセパレート (TTL : 正/負)、シンク・オン・グリーン、コンポジットシンク (TTL : 正/負)
- 対応周波数 下記対応表示モード参照

■対応表示モード

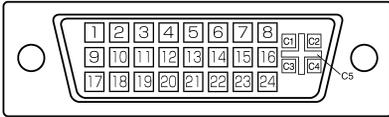
表示モード		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数	アナログ信号	デジタル信号
VESA ・ IBM AT互換機 ・ PC-9800シリーズ	640×480	31.5kHz	60.0Hz	25.175MHz	○	○
		37.9kHz	72.0Hz	31.5MHz	○	○
		37.5kHz	75.0Hz	31.5MHz	○	○
	800×600	35.1kHz	56.0Hz	36.0MHz	○	—
		37.9kHz	60.0Hz	40.0MHz	○	○
		48.1kHz	72.0Hz	50.0MHz	○	○
		46.9kHz	75.0Hz	49.5MHz	○	○
	1024×768	48.4kHz	60.0Hz	65.0MHz	○	○
		56.5kHz	70.0Hz	75.0MHz	○	○
		60.0kHz	75.0Hz	78.75MHz	○	○
1280×1024	63.3kHz	60.0Hz	108.2MHz	○	○	
ワイド	848×480	31.1kHz	60.0Hz	33.3MHz	○	—
	852×480	31.7kHz	60.0Hz	35.0MHz	○	—
	1280×720	44.7kHz	60.0Hz	74.4MHz	○	—
	1280×768	47.986kHz	60.0Hz	81.0MHz	○	—
		60.15kHz	75.0Hz	102.977MHz	○	—
	1360×768	47.7kHz	60.0Hz	84.7MHz	○	—
	1366×768	48.3kHz	60.0Hz	81.9MHz	○	—
	1920×1080	67.5kHz	60.0Hz	148.5MHz	○	○
US TEXT	720×400	31.5kHz	70.0Hz	28.3MHz	○	○

- ※ すべてノンインターレースのみの対応です。
- ※ 本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「OUT OF TIMING」と表示されます。
その場合、お使いのコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
- ※ 本機に何も信号(同期信号)が入力されない場合、「NO SIGNAL」と表示されます。

コネクタの対応表

■ PC デジタル RGB 入力端子のピン配列

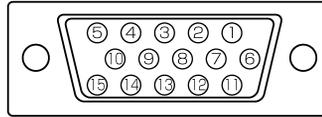
(DVI-D24ピン)



番号	機能	番号	機能
1	TMDSデータ2-	16	ホットプラグ検知
2	TMDSデータ2+	17	TMDSデータ0-
3	TMDSデータ2/4シールド	18	TMDSデータ0+
4	N.C.	19	TMDSデータ0/5シールド
5	N.C.	20	N.C.
6	DDCクロック	21	N.C.
7	DDCデータ	22	TMDSクロックシールド
8	N.C.	23	TMDSクロック+
9	TMDSデータ1-	24	TMDSクロック-
10	TMDSデータ1+	C1	N.C.
11	TMDSデータ1/3シールド	C2	N.C.
12	N.C.	C3	N.C.
13	N.C.	C4	N.C.
14	+5V	C5	GND
15	GND		

■ PC アナログ RGB 入力端子ピン配列

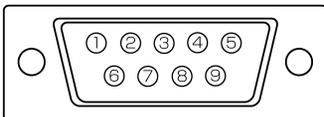
(ミニD-sub15ピン)



番号	機能	番号	機能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■ RS-232C 入力端子のピン配列

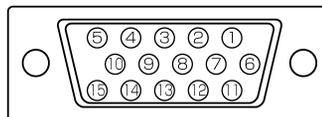
(D-sub9ピン)



番号	機能	番号	機能
1	N.C.	6	データセットレディ送信
2	送信データ	7	送信要求受信
3	受信データ	8	送信可送信
4	データ端末レディ受信	9	N.C.
5	GND		

■ PC アナログ RGB 出力端子のピン配列

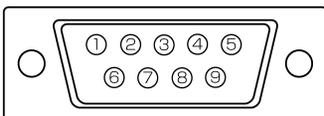
(ミニD-sub15ピン)



番号	機能	番号	機能
1	赤映像信号出力	9	+5V
2	緑映像信号出力	10	GND
3	青映像信号出力	11	N.C.
4	N.C.	12	N.C.
5	GND	13	水平同期信号用出力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用出力
7	緑映像信号用GND	15	N.C.
8	青映像信号用GND		

■ RS-232C 出力端子のピン配列

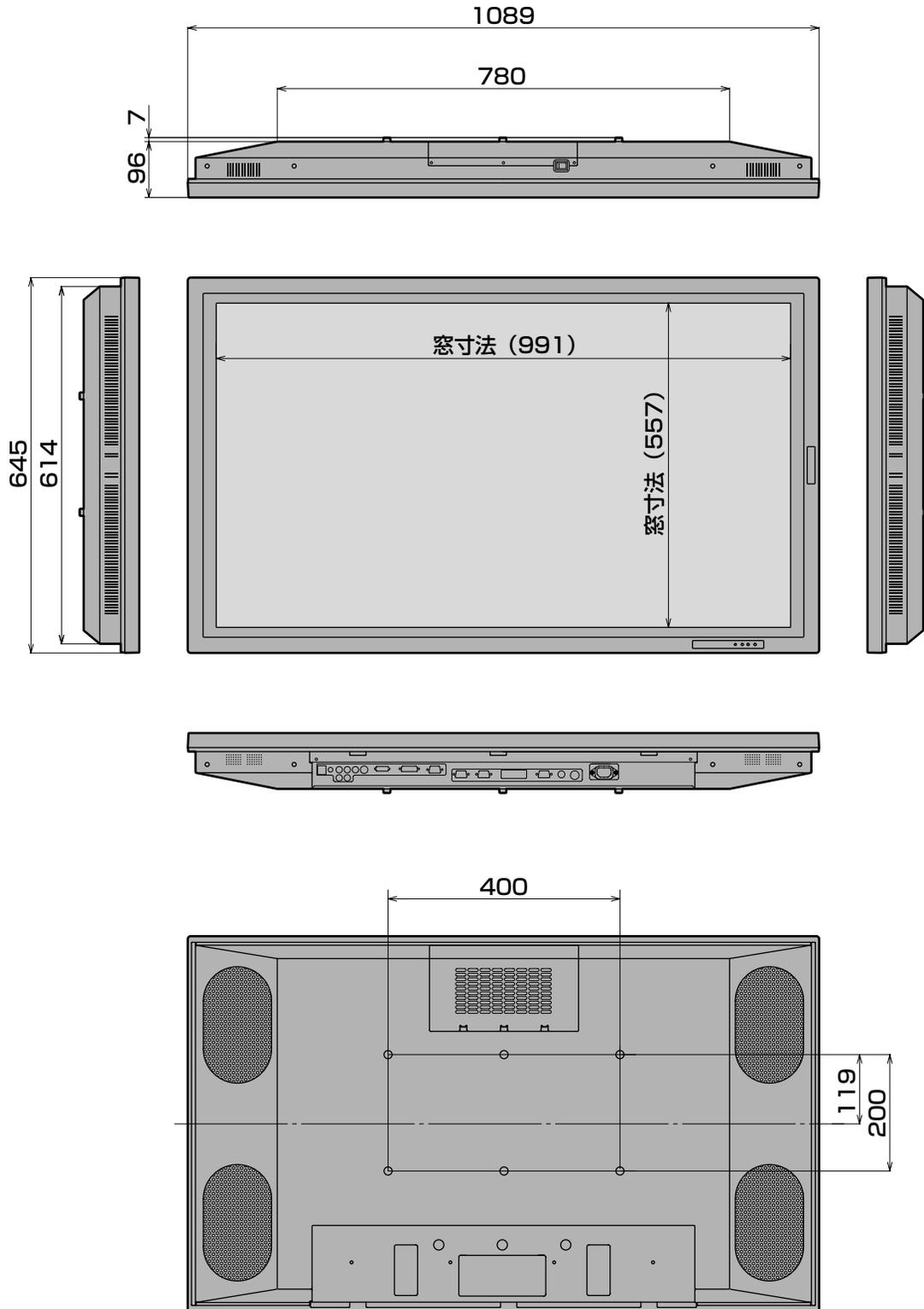
(D-sub9ピン)



番号	機能	番号	機能
1	キャリア検出受信	6	データセットレディ受信
2	受信データ	7	送信要求送信
3	送信データ	8	送信可受信
4	データ端末レディ送信	9	被呼要求受信
5	GND		

寸法図

単位：mm



付録

寸法図
コネクタの対応表

メニュー項目一覧

■ INPUT1 (PC デジタル RGB 入力時) のメニュー項目一覧

WHITE BALANCE	THRU							
	COOL							
	•							
	STD							
	•							
	WARM							
	USER	→	<table border="1"> <tr> <td>R-CONTRAST</td> <td>0 ~ 255</td> </tr> <tr> <td>G-CONTRAST</td> <td>0 ~ 255</td> </tr> <tr> <td>B-CONTRAST</td> <td>0 ~ 255</td> </tr> </table>	R-CONTRAST	0 ~ 255	G-CONTRAST	0 ~ 255	B-CONTRAST
R-CONTRAST	0 ~ 255							
G-CONTRAST	0 ~ 255							
B-CONTRAST	0 ~ 255							
MODE SELECT 2	OFF TIMER	0 ~ 23						
	OSD H-POSITION							
	OSD V-POSITION							
	ID NO SET	0 ~ 255						

■ INPUT2 (PC アナログ RGB 入力時) のメニュー項目一覧

ADJUSTMENT	MANUAL	→	<table border="1"> <tr> <td>CLOCK</td> <td>0 ~ 255</td> </tr> <tr> <td>PHASE</td> <td>0 ~ 255</td> </tr> <tr> <td>H-POS</td> <td>0 ~ 255</td> </tr> <tr> <td>V-POS</td> <td>0 ~ 255</td> </tr> </table>	CLOCK	0 ~ 255	PHASE	0 ~ 255	H-POS	0 ~ 255	V-POS	0 ~ 255
	CLOCK	0 ~ 255									
	PHASE	0 ~ 255									
	H-POS	0 ~ 255									
	V-POS	0 ~ 255									
AUTO											
GAIN CONTROL	MANUAL	→	<table border="1"> <tr> <td>BLACK LEVEL</td> <td>0 ~ 31</td> </tr> <tr> <td>CONTRAST</td> <td>0 ~ 31</td> </tr> </table>	BLACK LEVEL	0 ~ 31	CONTRAST	0 ~ 31				
	BLACK LEVEL	0 ~ 31									
	CONTRAST	0 ~ 31									
AUTO											
WHITE BALANCE	COOL										
	•										
	STD										
	•										
	WARM										
	USER	→	<table border="1"> <tr> <td>R-CONTRAST</td> <td>0 ~ 255</td> </tr> <tr> <td>G-CONTRAST</td> <td>0 ~ 255</td> </tr> <tr> <td>B-CONTRAST</td> <td>0 ~ 255</td> </tr> </table>	R-CONTRAST	0 ~ 255	G-CONTRAST	0 ~ 255	B-CONTRAST	0 ~ 255		
	R-CONTRAST	0 ~ 255									
G-CONTRAST	0 ~ 255										
B-CONTRAST	0 ~ 255										
MODE SELECT 1	480 LINES	852、848、640									
	768 LINES	1366、1360、1280、1024									
	ENLARGE	OFF、2 × 2、3 × 3									
	ENLARGE POS	2 × 2の時：0 ~ 3、3 × 3の時：0 ~ 8									
	MULTI ZOOM	→	<table border="1"> <tr> <td>IMAGE ZOOM</td> </tr> <tr> <td>H-POS</td> </tr> <tr> <td>V-POS</td> </tr> </table>	IMAGE ZOOM	H-POS	V-POS					
	IMAGE ZOOM										
	H-POS										
V-POS											
MODE SELECT 2	OFF TIMER	0 ~ 23									
	OSD H-POSITION										
	OSD V-POSITION										
	ID NO SET	0 ~ 255									

■ INPUT3 / 4 (D映像 / S映像・ビデオ映像入力時)のメニュー項目一覧

WHITE BALANCE	CONTRAST	0 ~ 31
	BLACK LEVEL	0 ~ 31
	TINT	0 ~ 31
	COLORS	0 ~ 31
	SHARPNESS	0 ~ 31
	WHITE BALANCE	COOL、・、STD、・、WARM
MODE SELECT 2	OFF TIMER	0 ~ 23
	OSD H-POSITION	
	OSD V-POSITION	
	ID NO SET	0 ~ 255

索引

● 英数

4 : 3映像	41
ADJUSTMENT	36
BLACK LEVEL	37
BRIGHT (バックライト調整)ボタン ..	31
CLOCK(クロック周波数)	36
COLORS(色の濃さ)	38
CONTRAST(映像)	37、38
DISPLAYボタン	31
Dot by Dot(画面サイズ)	41
DVI-D24ピン	18
DVI-I29ピン	18
D4映像	21
D4映像入力端子	21
ENLARGE POS	39
GAIN CONTROL	37
H-POS	36
ID NO SET (セットID番号設定)	40
ID制御用のコマンド	48
ID番号	47
INPUT 1(PCデジタル)	18
INPUT 2(PCアナログ)	19
INPUT 3(D4映像)	20
INPUT 4 (S映像・ビデオ映像)	22
INPUT(入力切換)ボタン	31
LED(LED非表示)	35
MENU(メニュー表示)ボタン ...	31
MODE SELECT1	39
MODE SELECT2	40
MODE(モード選択)ボタン	31
MULTI ZOOM	39
MUTE(消音)ボタン	31
NORMAL(画面サイズ)	41
OFF TIMER	40
OSD H-POSITION	40
OSD V-POSITION	40

PCアナログRGB出力端子	26
PCアナログRGB入力端子	19、26
PCデジタルRGB入力端子	18
PC音声入力端子	18、19
PHASE(クロック位相)	36
POWER(電源)ボタン	30
RS-232C出力端子	27、45
RS-232C入力端子	27、44、45
RS-232C コマンド一覧表 ..	53
S映像	22
S映像入力端子	22
SHARPNESS	38
SIZEボタン(画面サイズ切換) ..	31
TINT(色あい)	38
V-POS	36
VOL(音量調整)ボタン	31
WIDE(画面サイズ)	41
WHITE BALANCE(色温度) ..	37
ZOOM1(画面サイズ)	41
ZOOM2(画面サイズ)	41

● ぁ行

エンラージ	39
音声出力端子	23
音声入力端子	20、21、22
音量調整	31

● ぁ行

外部スピーカー端子	24
画面サイズ切換	41
仮置スタンド	28
キャリングハンドル	29
ケーブルクランプ	28
コマンド	46

● さ行

数珠つなぎ	45
主電源スイッチ	30

● た行

通信仕様	45
電源コード	25
電源ランプ	30
電源端子	25

● な行

入力切換	31
入力対応表	63

● は行

ビデオ映像	22
-------------	----

● ま行

メニュー	32
メニュー項目一覧	66
メニュー操作	32

● ら行

リセット	35
リピーター制御	50
レスポンス	46

Handwriting practice area with horizontal dashed lines.

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

Handwriting practice area consisting of 20 horizontal dashed lines.

● 修理のご相談は

61ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp>

シャープ株式会社

本社 545-8522 大阪市阿倍野区长池町22番22号
情報通信事業本部 639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地